
遊戯王GX ルールを守って楽しく決闘！

雷光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

遊戯王GX ルールを守つて楽しく決闘！

【コード】

N3776Z

【作者名】

雷光

【あらすじ】

目が覚めたら遊戯王の世界にいた…

やだよこの世界の禁止制限リスト、これだつたら現実世界の禁止制限リスト使つてデュエルしてやる！！

正々堂々、やる…それが俺の主義だ…！

注意…（作者は初心者です。さらに都合展開がありますのでそれが苦手なたは今すぐお戻りください）

第1話 始まりの前の始まり（前書き）

無謀なる同時更新！！

第1話 始まりの前の始まり

目が覚めたらどこかの家で横になつてた。

俺高校卒業して就職先探してたはず何だけど…
まあいいか。気晴らしにテレビでも見よ。

『ただいまアメリカからK社長、海馬せ』 ピッ

『皆様！！見てください！！あの決闘^{デュエルキング}王武藤遊戯使つてカー』 ピッ
『ダイナソー竜崎選手！！』で速攻魔法【突進】を発動…！【メガザウラー】の攻撃力を上げ【グレートモス】を倒しインセクター羽蛾を倒しま』 ピッ

……まさかこれは二次創作である転生とか憑依というものか！？
てか竜崎、羽蛾に勝つたんだ。

しかし来た世界は遊戯王か…とりあえず今の時期調べよ。

3時間後

時期は遊戯王GXの始まり1週間前か…
てか調べて思つたんだけどこの世界の禁止制限ゆる…！
禁止カードはノーロストでフィールドのカードを破壊する、モンスターと魔法…何故罷が無い？

でもまあ、現実世界でもやだからわかるんだけどさすが制限は緩すぎー！

何で【生還の宝札】【リビテ】がかかるねえの！？
未来融合も制限じゃないし！？

こんな禁止制限で勝つたて嬉しくねえよ..

..よしこれならオリジナルの禁止制限作ったほうがいいな

5時間後

できたー！よし自分が作ったこの禁止制限リスト結構いいな。現実世界の禁止制限リスト9月1日適応にこの世界の禁止制限リスト、さらにアニメ、ゲーム、漫画の壊れオリカは禁止。それでもほかのオリカは制限行きだけどね。

これでも1k111デッキ作れるから大半は遊びデッキにするけど

さあてお次はカード、カード…って多いな

少し調べるか

……とりあえずわかつたことは全部のカードがあること。

しかも【オレイカルコスの結界】や三幻神、三幻魔、地縛神、N.O.カードといった危ないカードまである。これは速攻で別のトランクに入れ厳重に保存：

ああー、後、エクシーズやシンクロビリティ…

これは後でいいか。

受験当日

よし、デッキはいっぱい作ったしシンクロやホクシーズのデッキも一応作つといた。
では受験会場に行こうーー！

第1話 始まりの前の始まり（後書き）

スマフォ「ひやひやひー…」

第2話 記念すべき初決闘（前書き）

どうも雷光です。

遊戯王は進む、進む…原作があるからストックがたまる。

そして最初の最強カードはこれだ!!

??「最強カードは永続魔法【冥界の宝札】。このカードは自分が2体以上のリリースを必要とモンスターをアドバンス召喚した時デッキからカードを2枚ドローできる!」

作者はこのカード好きですよ。紹介ありがとうございます、主人公!

第2話 記念すべき初決闘

さて、早速試験会場について筆記試験やつてんですが……

「簡単すきんだら……」

あまりにも簡単すぎて声に出でまつたよ……まあ第1問目

第1問

あなたが通うデュエル・アカデミヤのオーナーは？

これ知つてなかつたら結構失礼だる……かの有名なあの人ですよ？
そう青眼ブルーアイズを使うあの人ですよ
次もひどいなー

第2問

【強欲な壺】の効果？

みんなわかるよーーー2枚ドローするんだよー

第3問

現在プロリーグの1位は誰でしょう？

……あー誰だつけ？確かに青血さんを盗んだ人でしょう？でも名前わか
んないからバス

まあこつからはわかつて当然のやつがでてきたね。一部ビックリし
たのあるけど…それは何つて？それは…

第36問

【黒魔導師クラン】が被っている頭巾の動物は何でしょう？

知るか…！…こんなもの【なぞの手】並にわからねえぞ！…？

実技試験会場

はい、とりあえずそれなりにやりました。俺の受験番号は22番：
…俺はシヤークじゃねえぞ。2が来たって全然不幸な事なんておき
なえよ

『受験番号22番【宗野 魁】さん。2番の決闘場』

「呼ばれてるので早速」「——！」

「あなたが宗野魁さんですね」

「はいー。」

俺の目の前にいるのはメガネを掛けた知的感を放つてる人……うん、こいつは雑魚だ

強い奴って大抵メガネ掛けないし見た目からして頭よくなそうな奴が強いって結構あるからなー

ディスク構えて準備、準備……

「では始めましょう」

「はい」

「「^{デュエル}決闘！！」」

先攻は俺からだ！

「俺のターン、ドロー！魔法発動【手札断殺】を発動！お互いの手札を2枚捨て2枚ドローする！俺が捨てるのはこれだ！」

「なら私も2枚捨て2枚ドロー」

「そしてドロー。リバースカードを4枚セットしてターンエンド

魔轟神ソルキウス
レベル・ステイラー

魔轟神ソルキウス

「そしてドロー。リバースカードを4枚セットしてターンエンド

「手札交換しモンスターを出さずリバースカードだけでターンエンド？手札事故かい？」

ははははははつと笑う試験官、あざ笑うほかの受験生達……まあ、確かに軽く事故ってるからな。でもそんな笑い声を後で黙らしてやる

「私のターン、ドロー！【メカ・ハンター】を召喚！さらに装備魔法【データモンの斧】を装備！これで【メカ・ハンター】の攻撃力は2850だ。そしてさらに速攻魔法【リミッター解除】を発動！これで【メカ・ハンター】の攻撃力は5700だ！」

……さすがに驚いた……まさか原作1話からカイザーライのサイバーワンドを超えるとは……周りからもあの受験生終わつたとかさすが1、2を争う試験官だぜ！とか言つてるし……こいつクロノスと同じくらいなのか……まあこの強さも納得かい

「バトル！【メカ・ハンター】で直接攻撃！」

「相手が直接攻撃ダイレクトアタックした時相手の攻撃を無効にして【バトル・フェイダー】を特殊召喚する。そして相手のバトルフェイズを強制終了させる」

まつ通さないけど

「くつ……リバースカードをセットしてターンエンド……そしてエンド宣言時【メカ・ハンター】を【リミッター解除】の効果で破壊する（私のセットしたカードはミラーフォース……これであなたのすべてのモンスターを破壊する）」

「俺のターン、ドロー！リバースカードオープン【強欲な瓶】を発動！」

(何をしようがミラー・フォースで破壊してやる)

「まだだ！それにチヨーンしてリバースカード一斉オープン。【ハ汰鳥の骸】【血の代償】【積み上げる幸福】。チヨーン処理開始。【血の代償】の効果はライフを500払いこのターンもう一度通常召喚ができる。【強欲な瓶】と【ハ汰鳥の骸】はカードを1枚ドローする。【積み上げる幸福】の効果！チヨーンが4以降に発動できカード2枚ドローする！さらに永続魔法【冥界の宝札】を2枚発動！【冥界の宝札】は自分が2体以上生贊が必要なモンスターを召喚した時デッキからカードを2枚ドローできる

手札が一気に3枚！試験官の顔何するつもりだつて顔になつてるがそれはすぐわかるよ！

「墓地の【魔轟神ソルキウス】の効果発動！手札を2枚捨てソルキウスを特殊召喚する！さらにソルキウスのLVを2つ下げ墓地の【レベル・ステイラー】を特殊召喚2体特殊召喚する！」

「そんなモンスターを並べて何をするつもりだい？」

「おーい、さすがにここまでやつたんだからわかるだろ普通？……

「ステイラー2体を生贊に【トラゴエディア】を召喚！【冥界の宝札】2枚の効果で4枚ドロー！さらに【血の代償】の効果発動！500ライフを払いもう一度通常召喚する！ソルキウスと【バトル・フェーダー】を生贊にしてもう1体の【トラゴエディア】だ！【冥界の宝札】2枚の効果で4枚ドロー！さらに【トラゴエディア】の

「LVを2つ下げ再びステイラー2体を特殊召喚！500ライフ払
いステイラー2体を生贊に【銀河眼の光子竜】^{ギャラクティズフォトドラゴン}を召喚！さらに4
枚ドロー！」

「うつ……（まだ大丈夫だ…）ミラーフォースがある限り私に負けは
ない！」

「さらに銀河眼のLV2つを下げまたステイラー2体を特殊召喚
！」

すまない、ステイラー…恐らくネオスや【スピード・ウォリアー】
以上に過労死してるだろ？がそれでも勝つためにリリースするわ。
…そんな眼で俺の心に訴えないでくれ、そんな今にも泣きそうな顔
やめてくれ…

「さらには500払いステイラー2体を生贊に再び【銀河眼の光子
竜】^{ギャラクティズフォトドラゴン}を召喚！また4枚ドロー！よし来た！速攻魔法【サイクロン】
！これでお前のリバースカードを破壊！」

「なつ…？」

破壊したのはミラフオ…ありきたりだな…

「さらに墓地にある光属性【魔轟神ソルキウス】と闇属性【レベル・
ステイラー】を除外して【カオス・ソーサラー】を特殊召喚！」

「まさか世界に数枚しかないカオスシリーズまで出でくるとは…」

あれ？そんなレアなカードなのこいつ？以外だな…こいつゴールド
シリーズ買って12枚くらいダブってるぞ

ちなみに開闢はつかわないよ。あんなの使つたらこの世界のゲーム
バランス崩壊するし確か遊戯しか持つていなかつたはずだろ?
だとしたら使わない、使わない

「これで終わり!すべてのモンスターで直接攻撃!^{ダイレクトアタック}ちなみに【トライ
ゴエディア】の攻撃力は手札の枚数×600だから攻撃力は660
0です」

「そ……そんな馬鹿な……」

試験官 LP - 10900

「ありがとうございました」

「……………すがにやりすぎたな……周りをわめいてるし中には「あの銀河
眼^{アイズ}つてカード海馬社長の青眼^{ブルアイズ}に似てないか?」とか言つているやつ
いるし

確かに銀河眼^{ギャラクティクス}は似てるからなー……以後注意しよ

こんなでシンクロやエクシーズ使つたら注目的間違いな⁵「レバ²【ドラグニティ
【ドラグニティアームズ・レヴァティン】にレバ²【ドラグニティ
ファランクス】をチューニング!」ってはあ!…?」

「星と星が10を表し時烈火の炎よりすべてを滅ぼす竜が現れる!
シンクロ召喚!焼き尽くせ【トライデント・ドラギオン】!効果で
フィールド魔法【竜の渓谷】を破壊し2回攻撃!ツイン・ブレイズ
!…!」

「うわあああああー!」

……あの女……まさか俺以外でも転生者または憑依者がいるとは……し

かも何の躊躇いもなくシンクロ召喚するとは……周りがやわついてん
じゃねえか！

しかもこっち見たし……つわあ……銀河眼使わなきや 良かった……

しばらくたつた後

……おっ、十代が来た。そんでクロノスビデュエル
で原作通り進み最後はスカイスクレイパー・シユート…
これで試験は終了か。とりあえず転生者か憑依者かわからないけど
あの女が来る前に退散退散…

第2話 記念すべき初決闘（後書き）

やつぱり遊戯王は速く書きやすいな…

魁「しかしあやんとほかの小説もかけよ」

わかつてます。

では次回予告

「デュエル・アカデミヤの入学が決まった魁！
そして試験会場で現れた転生者！

万丈目の誘い？そんなことより転生者が先だ！」

次回！【禁止制限適用転生者VS禁止制限否適用転生者】
漢字が多くてすいません。

魁「しかし早速ライバルと戦うとはな」

いいんだよ別に！…次回もお楽しみに！…

第3話 禁止制限適用転生者VS禁止制限否適用転生者（前書き）

「どうも雷光です！」

3つも同時に書くんだからやつぱり執筆ペース決めないとねー！と思つたので決めました！

魁「執筆ペースは決めておいたが、やつと一つ成長したな」

遊戯王GX 1日1回

白黒学園物語 1週間に1回か2回
リリカルなのは 1ヶ月に1回ぐらい？

……という感じです。まあ、後々変わっていくでしょうけど……これを田安に書きたいと思います。

魁「さて今回の最強カードは…」

【青眼の光龍】…って何で社長のカード？

魁「それは本編を見てくれ。

効果はこのカードは通常召喚できない。自分フィールドに存在する【青眼の究極竜】をリリースして特殊召喚できる。自分墓地のドラゴン族1体につき攻撃力を300ポイントアップする。このカードを対象にする魔法、罠、モンスター効果を無効にする事ができる。

このカードはブリューナクの効果も無効にできるから召喚すれば結構な制圧力を持つぞ」

ただし現環境ではトリシューラで除外、奈落で除外、神宣で無効！最終的には出す前に自分が倒されるからあまり見ないカードだけど

出れば強こな！

攻撃力も上がれば1killできるし...墓地にドラゴン族が17体いれば...

魁「夢話だな」

第3話 禁止制限適用転生者VS禁止制限否適用転生者

後日、合格通知を貰つてテュエル・アカデミヤに通えるんだが……何故かオシリスレッドでしかも合格通知に手紙が入つてました手紙の内容は……

入学式の後すぐ校長室に来てください。

鮫島校長

……俺何も悪いことしてないよな……

とりあえず船に乗らなければ話が始まらない
荷物は制服、財布、生徒手帳、アカデミヤの通信端末そしてカード
一応すべてのカードを持ってきたけどさ……やっぱり【オレイカルコ
スの結界】とかそういう危ないカードはやめとくべきだつたか？

船が出航……順調に進んでるだがそんな俺の後ろに一人の姿があつた……

「少し悩んでる感じ悪いんだけど、ちょっと話があるのよ。転生者さん？」

そこにはオベリスクブルーの制服を着た、髪が何というか……その赤身が掛かつたような茶髪いや、茶色身が掛かつたような赤ような感じをした肩に掛かるまでの長さの髪を持つた少女がいた……あの時女か……

「何でしうつか? 転生者さん?」

俺も同じような返事して振り返った。さすがに転生者だと隠す事はない。すでに知られてるしあつちの情報も知るためににはまずは交友関係を作んないとな

「とりあえず一つ注意事項。あまり人前で銀河眼ギャラクターズのような一目見ただけで誰のカードと似ていると思わせるようなカードをつかちやダメでしょ?」

「そういうあんたこそ普通にこの時代にないシンクロ召喚を使つてるだろ? 未来を変えるよひつなやばい行為をやつてるお前よりかはマシだろ」

「確かこいつね

お互に睨み合いながら話をする……こつどんな」とがあるかわからぬからな

「……で他に用は?」

「あなたの名前が知りたい。それだけ」

即答ですか? 名前を教えてましいことはないし教えとくか

「いいよ。俺の名前は宗野魁。あんたは?」

「宗野魁ねえ……私の名前は【天城サクラ】あまじゅく以後よろしく」

「……名前の件の関してはソックリんだ方がいいのか?」

「ダメです」

… そうですか、恐らくあのN.O. カードを集めハンターの前世の
血筋なんでしょうね……

「それじゃ」

「あれ、本当にそれだけなんだ」

その後スタッフと離れたサクラを見てた… 天城って呼びずれえよな
あーしかしなくなると暇だな。もうすぐつくんだけどとりあえず
何かしてないと暇だ

「おつ受験番号22番君じゃないか」

何して用かな… テック作成? いやこんな人前ではあんなカード見せ
られないしな。

「22番君聞いてるかい?」

「あつ、何でしちゃか?」

誰かいたのか… つてあの有名なエアーマンこと 君じゃないか。
あれ? 何か名前にモザイクが…

「おーい、そこの人あんた! !」

さらに奥からGXの主人公十代が来た… 後ろに翔も

「あんただろ！ 実技試験で受験生の中でたつた1人だけ100000オーバーキルをだした決闘者つて！」

「それにあの銀河眼^{ギャラクティクス}というカードは何だ？ 世界に数枚しかない青眼^{ブルーバイクス}と同じ感じがするが… どうなんだい？」

「おーおー、いきなり自己紹介もせずに質問かよ… 少しほれ禮儀を覚えろ」

「そうだな。俺の名前は遊城十代！ お前と同じオシリスレッズ…」
「…」

「僕の名前は丸藤翔^{スカイ}…」

「最後に俺だ。」 「おーい！ あんなとこにシンクロ召喚とかいう召喚を使った女がいるぞ…」 「えつ！ ? 何々！ ?」 だ。よろしく

「…よく聞こえなかつたが名前は知つてゐるからいいか。やつぱりシンクロ召喚は注目されるんだね

「…」 ちらりとよろしく。俺の名前は宗野魁よろしくな。 とりあえず「追え！ 逃がすな！ ちゃんと話を聞いてもらつぞ！」 銀河眼^{ギャラクティクス}にては確かに青眼と同じ世界に数枚しかないカードだ。ほかに質問は？

「いや、特にない。 しいて言つならシンクロ召喚を知つてゐるかい？」

知つてゐるけど… はサクラに押し付けて負担を増やそつか

「全く知らない。知りたければさつきから追つている生徒達が追つている女子生徒。あいつがシンク口召喚使つてるから聞きに行け」

「そうかわかった。では！」

「おひ

「俺は素つ氣なく『なあ、魁！デュエルしよう…』『ヒヒヒヒヒヒ…』とHアーマンの名前が潰されてるな…

「それはついてからにじる。十代

「えええーーいいじゃん。今すぐヒヒヒヒヒヒ…」

「却下。それ以上言うとやつてやつてもいいけど今後一切しないぞ

「う…わかった…でもついたなら必ずデュエルしろよ…」

「わかつてる」

その後俺達は他愛もない話をしていたデュエル・アカデミヤについて

「ああつてど…まさか誰もいないとは…」

部屋についてそうそうこれがよ。とりあえず荷物を置くか。クローゼットに制服を入れ、デッキホルダーを腰に巻いてデッキを8つほど投入…その内3個はエクシーズ、シンクロ、禁止制限を守つたガチデッキ。そして残りはタイプ別の遊びデッキ

あるいはローレベル、ロック、ハンデス、ビート、エクゾティア。

昨日の試験で使ったのはこの中のビート、テックだな

そこでカードのトランクはビートに置こうか…社長サイズのトランクが30個近くあるんだぞ?危ないカードは自分の引き出しに入れておくか…どつかの漫画のように2重底でな。下の方にいれ上に勉強道具や必需品を入れて、残りのカードはクローゼットの奥に7個ベットの下に2個…机の上に5個…残りはドアの近くに置いとくかこれでオーケー…後はデュエルディスクを着けて…準備完了!

「おーい!魁!速くデュエルしようぜー!」

「おー!今行くー!」

グットタイミングだよ十代ー!

「じゃあ行こうかー!」

「おー!..」

俺達はデュエル・アカデミヤに全力疾走した…
決して全速前進 DA!!じゃねえぞ

んで決闘場に来たんだが…

「おい!お前らー!」はお前達オシリスレッドが使っていい場所じゃねえぞ!」

そうなんです。原作の通りオベリスクブルーが占領してゐるんです。となると次は…

「別にいいじゃないか！」ここで決闘デュエルしたつて…」

「何だと…オシリスのドロップアウトが楯突く！「諸君、そこまでにしたまえ」万丈目さん…！」

ぼーら出てきた、出てきた。猿山…いやゴミ山に大将、万丈目準…この頃のサンダーはどう考へてもライバル臭さりベジータ臭もしたな…

「あいつ誰だ？」

「知らん。しかしながら山のコーダーと喋つてたつて時間の無駄だ。速くやるべ」

おおつと…取り巻き達とサンダーはイライラして…怒り出し声をあげた

「貴様ら！万丈目さんを馬鹿にしてるのか！」

「いやしてない。俺はただそんな肩山の大将と喋るのが時間の無駄だと言つたのだ」

「ちつ！貴様らドロップアウトに特別に教えてやる！」のお方、万丈目さんは貴様らと同じ1年だがそんなもの用とスッポンほど以上に差がある！万丈目さんは中等部からトップクラスの力を持つ超エリートなんだぞ！正しくこの学園最強の1年生なんだぞ…！」

「うわーすつ」こ（棒読み）でも中等と高等を同じにするな。お前らがいるところの力は全然下の下の下。その中の超ヒーローなんてよくて下の下の上でしょ？」

「貴様！この俺様が黙つて聞いてれば次々この俺様の事を馬鹿にしやがつて…この俺様が直々にこのアカデミヤの厳しさを教えてやる！」

「断る。今は十代とやらなければいけないのでまた今度」

ははは…！何か他人をあしらつのは楽しいな…！しかも断られてめつちやダサイ！

「いい加減にしろ！」のドロップアウト「あなた達いいかげんにしないさい！」で、天上院君…」

出ました！今作GXのヒロイン、天上院明日香…！こいつのトッキはサイバーガールデッキで後々になると機械天使になつたはず…しかしこのサイズ…とも高…にはできねえぞ

「万丈目君！さつきからオシリスレッジの言葉に惑わされてるけど根本的にはそつに非があるのよ…こじは素直に謝りなさい…」

「く…誰がそんなことをするか！行くぞお前ら…」

「…はい…万丈目さん…」

ズラズラ行くオベリスクブルー達。しかし俺が銀河眼ギャラクターズ使つたことを誰も言わないとわ…うつ？銀河眼ギャラクターズ？

「ああああああ！…」

「「つま…じつした魁！…」

「すつかり校長に呼ばれてるの忘れてた…十代…また今度…」

「おい…待つて！」

「急げ！急げ！鮫島校長怒つてるかも！」

校長室

「お、遅くなつて申し訳ござこません…ぜえぜえ」

「だ、大丈夫かい、宗野君？」

「大丈夫ですつて言つたけどあまりにも疲れすぎてて声が出ない…

「まあ、手紙の件を話さないとけませんね」

「…は……」

「君が「」と呼ばれた理由、それを話そつか」

「クククと俺は頷き鮫島校長の話を聞きました

「まず呼ばれた理由と君がオシリスレッドなのは関係している」

…黙つて聞く俺

「君がオシリスレッドなのは君が試験中に銀河」

以下略…

つまり俺がオシリスレッドなのは銀河眼ギャラクティクスを持っているで海馬社長直々にオシリスレッドにいろいろと言つたらしい。理由はオベリスクブルーやラーライエローではレアカードが盗まれることが多々あるらしい…

さらに今学期中に海馬社長が来てくれるらしい…まさか銀河眼ギャラクティクスがここまで世界に影響を与えるとはすげえな。以後使わないようにしようかな?

そんで今は夜。デッキ作りといつかほかにも禁止制限にするやつあるんじゃねえ?と思つてカードをいちくつてる

…【ラヴァルバル・チヨイン】を制限にしておくか。後【ダイガスター・フェニックス】も。

次に【真炎の爆発】…制限行き。【A・O・Jカタストル】はどうかな…効果体制は無いけど効果強力だしシンクロしやすいし機械族だし闇だし…どうしよう?

ヴォルカザウルス…準制限かな?ホープレイ…無いな。アーメ限定カード【アーマーシリーズ】…禁止!だけどカイザーに出会つたら

渡そう。中の人の都合上

今思つたけど名も無き竜達つてほかに何の姿になるのかな?使って
みたいけど世界に影響を及ぼせるから禁止

ふうー…大変だな。しかし自分自身に枷をして楽しむ…これほどい
い遊びはねえ!

うん?メールがある?何だろ?

ドロップアウトボーカー!さつきはよくも馬鹿にしてくれたな!午前
0時決闘場デュエル フィールドで待っているぞ!あれだけ馬鹿にしたのに逃げるなよ!

万丈目さん

…最後に万丈目「さん」とは…よつぼどさん付けが好きなのね。あれ?もう一件メールが…

午前0時、オシリスレッド近くの発電所で待ってるわ。ちやんとト
ッキを持ってきてね

b y 天城サクラ

よしサクラのほうに行こうか…!

…えつ?万丈目?あいつ何て放つておけ。近日中に何故来なかつた
!とか言つて決闘デュエルしてくるでしょ
それにサクラの気になるし

「よし…行くか！」

俺はいきよこ良ぐドアを開け発電所に向かつた…

発電所

「あら、案外速く来たのね？」

「はは、当たり前だ。女性を待たせるなんて男がする事じゃねえ」

「ふつ…」に呼んだ理由はわかるでしょ？」

「ああ…」

そう言つてティスク構える俺とサクワ…

「「^{デュエル}決闘！」」

「これは人目がないから本氣でやつてやる！」

「俺が先攻だー！ドロー！手札より永続魔法【未来融合 フューチャー・フュージョン】を発動！効果知つているよなー！」

「当然」

「なら俺は【F・G・D】^{ファイブ・ゴッド}を選択！デッキから【伝説の白石】^{チャーリング}が2体【真紅眼の飛竜】^{レッドアイズ・ワイヤーバーン}が2体【レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン】を選択！」

【伝説の白石】の効果発動！このカードが墓地に送られた時デッキから【青眼の白龍】ブルアイズ ホワイトragonを手札に加える！2枚送ったので2枚手札に加える！

「ふーん…絶ドラね」

「せついいえばそうだけど今は絶ドラじゃねえよ…！」

新しく入ったスターター・デッキ【ドラゴニック・レギオン】でレダメが入っているからな！今じゃ絶望じゃなくて希望が見えるぜ！

「さらに手札から魔法発動！【融合賢者】！デッキから【融合】を手札に加える！そして【融合】発動！手札の青眼を融合！来い！青眼に宿りし究極の魂！融合召喚！【青眼究極竜】ブルアイズ ホワイトragon！さらに究極竜を生贊にして！究極を超えし光の竜よ！今その姿を輝かせろ！特殊召喚！【青眼の光龍】！」

「そして墓地のドラゴンは…9体…」

「光龍の効果で光龍の攻撃力は5700！リバースカードを2枚セツトしてターンエンドだ！エンドフェイズ！墓地の【真紅眼の飛竜】レッドアイズ ワイパーを除外して墓地の【レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン】を特殊召喚！墓地のドラゴンが減った事で光龍の攻撃力は600ポイントダウンする」

いきなり展開しすぎたな…相手はどう来る…？

「私のターン、ドロー！【天使の施し】を発動！」

禁止力……………でもこの世界では制限だから仕方が

無い！

「デッキから3枚引きその後2枚捨てる。【死者蘇生】を発動！この効果で墓地より【ガガガガール】を特殊召喚！そして速攻魔法【地獄の暴走召喚】！この効果で私は【ガガガガール】をデッキから2体特殊召喚する！そしてあなたも自分モンスター1体を対象にしてデッキ、手札、墓地から同名モンスターを特殊召喚しなさい！」

「デッキから【レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン】を特殊召喚！」

「くそ！俺のデッキにはレダメは2枚しか入ってないよ！」

「あら？レダメは2枚しかないの？普通なら3枚入れるのに…まあいいや。【ガガガマジシャン】を召喚！」

『『『ガガガ先輩！』』』

『オ……オウ！』

【ガガガマジシャン】後輩がいっぱいいてビックリしてるぜ。これは見ものだ！

「そして【ガガガガール】の効果発動！このカードの↓を【ガガガマジシャン】と同じ4にする！そして【ガガガガール】2体でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！【N.O.・39希望皇ホープ】！…さらに【ガガガマジシャン】と【ガガガガール】でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！【N.O.・39希望皇ホープ】！」

9希望皇ホープ】！」

ホオオオオ――――プ――

出た――――――アポリアさん――――――
そのままあれに繋ぎたいな――――――

「【ガガガガール】の効果でレダメ2体の攻撃力を0にする！光龍
にやりたいけど効果で無効にされるから無理だから仕方が無い
バトル！ホープでレダメに攻撃！ホープ剣スラッシュユ！」

「...ル...ル...ル...」

宗野魁 LP1500

やつぱり【ガガガガール】の効果は強いな……だけど……

「さらにホープでレダメに攻撃！ホープ剣スラッシュ！」

「罠發動！【龍の転生】^{（アラゴン）}！レダメを除外して墓地から【青眼の究極竜】^{（ブルーアイズ）}を特殊召喚！」^{（アルティメット）}

「攻撃は中止！リバースカードを2枚セットしてターンエンド「エンドフェイズ時に永続罠【闇次元の開放】を発動！」そんな！」

焦るなよ？まだ決闘は始まつたばかりだぜ？

第3話 禁止制限適用転生者VS禁止制限否適用転生者（後書き）

はい、早速次回予告！

始まつたばかりなのにいきなり熱き戦いを繰り広げる転生者2人！
そしてサクラが窮地にたつた時新たに現れたモンスター！
両者がだす攻撃には一部の隙も無い！！

次回！【究極こえし光VS混沌を光に変える使者！！】

次回もお楽しみに！！

第4話 究極超えし光ＶＳ混沌を光に変える使者ーー（前書き）

連続更新！！

だが同時にだんだんストックが減つてゆく！

魁「現在どこまでストックがあるんだっけ？」

若本戦まで溜まっていますよ。

魁「じゃあ大丈夫だろ」

そうかな…？

心配だけどそれでいいか！

さて今回の最強カードは！？

魁「【CNO・39希望皇ホープレイ】！！

エクシーズ素材は光属性LV4モンスターが3体か自分フィールドの【N.O.・39希望皇ホープ】の上に乗せエクシーズ召喚する！このカードの効果は自分ライフが1000以下の場合、自分オーバーレイユニットを一つ取り除く事でこのカードの攻撃力を500ポイントアップして相手モンスターの攻撃力を1000ポイントダウンさせる！

前話での【ガガガガガール】のコンボを使った後自分ライフが100以下の時このカードを出せば勝利の方程式が完成するぞーー！」

後【ファンタム・オブ・カオス】の効果で得たホープにも重ねられますよ。

今回はアニメで困ったときの逆転カードでした。

ぶっちゃけこのカードと【ガガガガガール】さえあればアニメの初期

ライフ4000なんて簡単に削れるので台本合せには持つて来い
ですよね。

第4話 究極超えし光ＶＳ混沌を光に変える使者！！

「俺のターン、ドロー！【レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン】の効果発動！墓地より【青眼白龍】を特殊召喚！さらに手札魔法発動！【アドバンスドロー】！【青眼白龍】を生贊にして2枚ドロー！さらに手札から魔法発動！【トレード・イン】を発動！手札の「バモンスター【銀河眼光子童】を捨て2枚ドロー！」

「これでさらに光龍の攻撃力は300ポイントアップ…攻撃力高いね」

「そりやどうも！行くぞ！光龍でホープに攻撃！シャイニングバースト！」

天城サクラ LP 800

「光龍の光の咆哮がホープに直撃？…何故効果を使わない？」

「希望皇ホープの効果……このカードは【ノ・・】と名のついたモンスター以外の戦闘では破壊されない！」

原作効果！…？原作ならノ・危ないカードじゃないか！？

「お前大丈夫か！？取り込まれてないか！？」

「大丈夫。確かにNO・特有の感じがあつたけど私に害は無かつたから」

それでも危ねーよ！

たくつ……なんちゅうカード使ってんだ…

「続けてバトル！究極竜でホープに攻撃！アルティメット・バースト！」

「希望皇ホープの効果発動！オーバーレイユニットを1つ取り除き相手モンスターの攻撃を無効にする！ムーン、バリア！」

オーバーレイユニットがホープの心臓らへんに入りホープが翼で究極竜の攻撃を防いだ

「【レッドアイズ・ダークネスマタルドラゴン】でホープに攻撃！ダークネス・ギガフレイム！」

「先ほどオーバーレイユニットを使つたホープの効果発動！オーバーレイユニットを1つ取り除き攻撃を無効にする！」

同じように攻撃を防がれたレダメ

やるな…禁止カードや原作効果を使ってなれば

「リバースカードを2枚セットしてターンエンド！」

またハンドレスか…手札がほしいな…

「私のターン、ドロー！来た！手札から魔法発動！【二ベルングの財宝】…」

ちょっと待て…………原作効果、禁止カードに続いて今度はアニメのオリカですか！？

しかも【二ベルングの財宝】の効果つて…

「【二一一ベルングの財宝】の効果！このカードの発動時自分はカードを5枚ドローする！」

出たよ壊れオリカ…そんなカード使って楽しいか！？確かに効果は強力だけど…！」

「そして『テッキから【二一一ベルングの指輪】をレダメに装備させる！』

…すまん、レダメのせいなんだけど…つけてる場所が指輪じゃなくて『首』よつてこれは【二一一ベルングの指輪】改め二一一ベルングの首輪にしよう

でも首輪の効果はつえ…確かに効果はこのカードを装備したモンスターは生贊も効果も使用できずさらに攻撃までできない…ただしあまけ効果にこのカードを装備したモンスターのコントローラーはドローフェイズ時『テッキからもう1枚ドローできる。そしてスタンバイフェイズにドローフェイズにドローしたカードにモンスターがあつた場合ドローしたカード中のモンスターを1枚墓地に送る。後者の効果は場合よつてはすげえ強くなる…【魔のテッキ破壊ワイルス】を使えば魔法、罠も落とせるし手札も確認できる。…たくじークと社長が組めはある意味最強タッグだつたひ…

「速攻魔法【サイクロン】！これで未来融合を破壊…続いて永続魔法【強者の苦痛】！これであなたのモンスターの攻撃力はダウン！いくわよ！オーバーレイコニットがあるホープに対し私はある力ードを重ねる！」

「まさかそれって…」

あの進化すんのが早過ぎる…

「やべ、それよー！」のカードは自分フィールド場の【N.O.・39希望皇ホープ】と名の付くモンスター・エクシーズ素材に召喚できる！ カオス・エクシーズチュンジ！ 今こそその姿を現せ！ 混沌を光に変える使者！ 【C.N.O.・39希望皇ホープレイ】！…

『ホオオオオーリーブツ！…』

まさかあのみんなからハズレカードだと言われ続けてたカード… ホープレイがこんな簡単にフィールドに出るなんて… でもこいつから活用しなければホープレイを出した意味が無いぜ？

十代Side

万丈目と決闘して途中でガードマンがきて中止。今は外で明日香と翔と話しているが…

「おい、何だあの光？」

オシリスレッド近くの森の中がやたらと光ってるんだが…

「ああ？」

「何でしじうね？」

「とりあえず行ってみようぜ！！」

俺達は光のところに向かつたんだが…
すげえ…すげえとしか言いようがねえ…！

「カオス・エクシーズチエンジー今こそその姿を現せ！混沌を光に
変える使者！【CNO.39希望皇ホープレイ】…」

『ホオオオオーナーブツ…!』

あそこにいるのは魁！しかも対戦相手は試験でシンクロ召喚とかい
う召喚した天城サクラ！しかもまたサクラは新たな召喚をしてる…
それだけじゃない！魁のフィールドには攻撃力5700のドラゴン
と2800のドラゴン！

最後のドラゴンは…あれどう見ても【青眼の究極竜】だよな？

青眼は海馬さんしか持つてないはず…どうやって場に出したんだ？

「さらに【切り込み隊長】を召喚！効果により手札から【ビック・
ジョーズ】を特殊召喚！」

ええ…！…あの鮫しらで攻撃力1800！？強すぎだろ…！

「LV3【切り込み隊長】と【ビック・ジョーズ】でオーバーレイ
ネットワークを構築！エクシーズ召喚！【潜航空艦エアロ・シャー
ク】！」

「…やせるか！罷発動【奈落の落とし穴】！相手が攻撃力1500

以上のモンスターを召喚、反転召喚、特殊召喚した時そのモンスターを破壊し除外する！」

「くつ！防がれたか！ホープレイに対して使わなかつたから無いと思つてたけど…」

「あいにくそつちが原作効果を使うのをわかつてゐるんでね…恐らく【潜航母艦エアロ・シャーク】が出ると思つて使わなかつた」

原作効果？

エラッタとかそんな感じの事かな？

「しようがない…ホープレイの効果発動！オーバーレイユニットをすべて取り除きエンドフェイズ時まで攻撃力を1500ポイントアップ！そして究極竜^{アルティメタゴン}の攻撃力を3000ポイントダウンさせる！オーバーレイチャージ…！」

その効果強力じゃないか！

【ブラック・マジシャン】、【青眼の白龍】^{ブルライズ ホワギョウ}の攻撃力さえ0にして自分は攻撃力4000で攻撃なんて…強力すぎるだろ！

「これで終わりよ！ホープレイで究極竜^{アルティメタゴン}に攻撃！ホープ剣力オオスラッシュ…！」

ホープレイの剣が究極竜を破壊した…魁が負けるなんて…

「罠発動！【ガード・ブロック】…このカードは戦闘で発生したダメージを一度だけ0にして1枚ドロー…」

さすが魁！あんなダメージを防ぐなんて！

「決められなかつた…だけどホープでレダメに攻撃！ホープ剣スラ
ッショ！」

「ぐつ！」

宗野魁 LP800

「これで並んだわ…リバースカードを1枚セットしてターンエンド」
お互いのライフは同じ…しかし攻撃力は魁のほうが上…このまま押
しきれば勝てる！

「俺のターン、ドロー！（今の光龍の攻撃力は【強者の苦痛】で5
300か…攻撃力の維持のため墓地のドラゴンをあまり減らさない
でおこう）魔法発動！【死者蘇生】！この効果で墓地より来い！【
ブルアイスルティダラゴン】！青眼究極竜！バトル！光龍でホープレイに攻撃！」

これが通れば魁の勝ちだ！

「ダメージステップ時に永続罠【燃える闘志】をホープレイに対し
て発動！」

「ま、まずい！」

「【燃える闘志】の効果！このカードを装備したモンスターは装備
モンスターの元々の攻撃力より攻撃力が高いモンスターが存在する
時ダメージステップ終了時まで攻撃力を2倍にする…」

攻撃力が

【青眼の光龍】 攻撃力50000 ブルアイズ シャギラブガ

【CNO・39希望皇ホープレイ】攻撃力5000

並んだ！

「行け！ ホープレイ！ ホープ剣力オスマッシュ！」

「くつーシャイーニングバースト！」

お互いのモンスターは攻撃しあい打ち…

「なら究極竜でホープに攻撃！」
アルティメットゾン

これも通れば！勝てる！

「罠発動！【ダメージ・ダイエット】ーこのターン自分が受けるすべてのダメージを半分にするーぐつー」

あたやー防かれたか…でもこの元ニユルめちゃくちゃ「フケ」「フケするぜーー！」

天城サクラ LP400

「防がれたか…ならメインフェイズ2！俺は魔法カード【貪欲な壺】を発動！墓地の【青眼の光龍】と【伝説の白石】が2体【青眼の白龍】2枚をデッキに戻しシャッフル！そして2枚ドロー！究極竜を生贊に…再びこのフィールドに光をもたらせ！特殊召喚！【青眼の光龍】を特殊召喚！！墓地のドラゴンは3体減り【強者の苦痛】で

攻撃力ダウン...攻撃力は4100...これでターンエンド

「私のターン、ドロー！再びホープをエクシーズ素材にしてエクシーズ召喚する！力オス・エクシーズエンジ！再び姿を現せ！混沌を光に変える使者！【CNO・39希望皇ホープレイ】！」

また出た！ホーフレイ!

「そしてホープレイの効果発動！ オーバーレイユニット1つ取り除いてこのカードの攻撃力を500ポイントアップする！ 攻撃力ダウントレーリング【シャドウブレイブ】には効かない… オーバーレイチャージ！ さらに装備魔法【巨大化】！ これによりホープレイの元々の攻撃力を倍にする！ よつて攻撃力5500！」

まずい！これだと魁が負けちまう！

「これで終わりだ！ ホープレイで光龍に攻撃！ ホープ剣力オススラ
ツシユ！」

今度こそ魁は終わりだ！

——ふつ……今度はそつちが引つ掛かる番だ世——！」

何！？

まさか魁にはこの状況を打開するカードを持っているのか!?

「いくらフィールドにリバースカードが無くても手札にも注意しろ

よ！手札から【オネスト】の効果発動！

「そんな！？」

「【オネスト】の効果！自分フィールド場の光属性モンスターが相手モンスターと戦闘をおこなった時発動できる！手札のこのカードを墓地に送り戦闘してする光属性モンスター：【青眼の光龍】の攻撃力に戦闘されてる相手モンスター：【C.N.O.・39希望皇ホープレイ】の攻撃力：5500を【青眼の光龍】に加える！！」

攻撃力が9600!!?

「迎撃しろ！光龍！光滅の…シャイニングバースト・ストリーム

天城サケテ
L P - 3700

一 サケラ。俺の勝ちだ

「そうね。いい決闘だったわ」
デュエル

くう———つ！早く魁とデュエルしてえ！——

「翔！返るぞ！」（ボソッ）

「えっ？ 待つてよ、アーキー！」（ボソッ）

第4話 究極超えし光VS混沌を光に変える使者ーー（後書き）

はい、とこづけで勝者は魁でしたーー！

魁「いやー実際やつて疲れた…」

ちなみに魁が使つた“デッキ名は【白き龍の逆襲】で一応ガチデッキ。サクラが使つたのは私の活動報告で書いたデッキ【ホープレイデッキ】をオリカ、禁止カードを入れた感じのデッキです。

魁「では次回予告ーー！」

今日はのんびり学園生活！
えつ？翔がない？
よしだつたら探しに行こづぜー！

次回！【翔争奪戦？一触即発タッグデュエル！】

次回もお楽しみに！

第5話 翔争奪戦？一触即発タッグデュエル！（前書き）

はあー…

黒野「どうした作者？」

おい黒野。お前はまだ「」の前書きに出でちゃダメ。

黒野「そうかい。では」

魁「じゃあ代わりに俺が。どうした作者？」

…今回だしたコンボって成立するのかなって…

魁「どうだらうね…オリカビ「」のコンボだから不明だよ」

ですよね…

まあ、とにかく今回の最強カードに移ろつかー

魁「そうだな。今回の最強カードは【ドゥーブルパッセ】！」

このカードは自分モンスターが相手モンスターに攻撃された時発動！その攻撃を直接攻撃として受け攻撃対象にされた自分モンスターは直接攻撃する！

モンスターを守りたい時以外に使いどうあるかな…？」

ちなみに効果は漫画版です。でも確かアニメ版もこんな感じだよな

…？

第5話 翔争奪戦？一触即発タッグデュエル！

今日は珍しくまともなデュエルの授業……

……なんだけどみんなの頭の奥しさに俺泣きそつ……

だってさー……カウンター罠のスペルスピードは？という問題がでたら皆わん一齊にスペルスピードって何だ？っていいだしなんだぞ？次に【死者蘇生】にチーンして【サイクロン】を発動するはどうなる？という問題もチーンって何だ？とも言い出した。とりあえず生徒が答えたんだがその答えは「【サイクロン】で【死者蘇生】を破壊すると【死者蘇生】の効果は無効化されます」と言った……お前ら馬鹿だろ。【サイクロン】で【死者蘇生】の効果は無効にできないよ。

……ちよつと待て！なんで先生正解って言つてんのー？間違ってるよ！先生も間違えてどうする！

こんな感じで授業が進んで今度は俺が指された

「宗野カイー。こここの問題、フィールド魔法にツイーで説明、及び有効な使い方をだすノーネ」

フィールド魔法か……簡単だな

「フィールド魔法はフィールド場に置く場所が2つある。この場所をフィールドカードゾーンと言つ。表側フィールド魔法はフィールド場に1枚しか存在できない。フィールド魔法は相手フィールドにも影響を及ぼす。例えばフィールドが【海】の状態の時自分が魚族を使つていれば攻撃力はアップ。相手が炎族を使つてれば攻撃力ダウン。逆に自分が炎族を使つて場合攻撃力がダウン。なおフィールド魔法をサーチできるカードはいくつあります。フィールド魔法だったらデッキから何でもサーチできる【テラ・フォーミング】手

札にある【アトランティスの戦士】を墓地に送りデッキから【伝説の都アトランティス】があります。この通りフィールド魔法はデュエルの勝敗を決めるのではなくデュエルの流れを自分に変えるためを使います。なおフィールド魔法はさまざまカードがあります。例えば基本の攻撃力、守備力を上げるカード【森】や【荒野】【闇】これらは自分が使う種族がフィールドにあつてている場合に使われます。守備力を下げる代わりに攻撃力をさらに上げるフィールド魔法【ガイアパワー】や【ウォーターワールド】があります。これらのカードが主にデュエルの流れを大幅に掘るために存在します。ただしフィールド魔法は種族に関係するものばかりではありません。例えば遊城十代が使つたカード【摩天楼 スカイスクレイパー】や天城サクラさんが使つた【竜の渓谷】があります。前者のフィールド魔法は相手に攻撃力のアドバンテージを与えてく自分が【E・HERO】デッキを使えば一方的にフィールド魔法の効果を得られます。後者のほうはフィールドに影響は与えませんが手札、デッキに影響を及ぼします。デッキから↓4以下の【ドラグニティ】と名のついたモンスターを手札に加えられますしもう一つの効果、デッキからドラゴン族モンスターを墓地に送るという効果。これは主に【ドラグニティ】専門のドラゴンを送つたり一般的な考えで使うなら【ダイヤモンド・ドラゴン】を落として【死者蘇生】を使うといいですがこのやり方はあまりオススメしません。何故ならどちらの効果もこのカードの発動時に手札を1枚減り効果使用に手札をさらに1枚減りそして【死者蘇生】の使用で手札がさらに1枚減ります。手札を3枚も使用して出てくるのが【ダイヤモンド・ドラゴン】では手札の消費枚数と出す価値が合いません。だからこのコンボはオススメしません。後皆さん勘違いしやすい事をいくつか。【マインドクラッシュ】で【伝説の都アトランティス】を選択してアトランティスが手札にあつても墓地には送られません。何故ならアトランティスの効果文の最初にこのカードは名は『海』として扱うという効果があるからです。この効果はデッキ、手札、フィールドに關

係無くどこにあってもルール上『海』という名前で扱われます。これについて【マインドクラッシュ】で宣言したアトランティスは『海』という名で扱われるので無効にされます。アトランティスを【マインドクラッシュ】で墓地に落としたい場合『海』と宣言しなければいけないので、注意を。なお【アトランティスの戦士】で【伝説の都アトランティス】がサーチできるのは恐らく特別処置がされてるかと思われます。さらにデッキ作成でも『海』として【伝説の都アトランティス】と【海】で3枚ずつデッキに入れれないのでそのところも注意を。後【死皇帝の陵墓】の効果で召喚された【氷帝メビウス】や【雷帝ザボルグ】の効果は発動されません。これは【帝】モンスターの共通効果、このカードが生贊召喚に成功した時…と書かれているので【死皇帝の陵墓】の召喚された【帝】は生贊召喚ではなく通常召喚なので効果は使用できません

言つた後そのままドスッと席に座る俺。皆さんノートを出して真面目に書いていやがる……とは言つてもオベリスクブルー男子は全員書いてないとと思うけど。

しかもまさかクロノス教諭までメモ帳だして書くとは……。じんなのデュエルモンスターの常識だろ？ 最後のアトランティスと【帝】以外…しかも最後に言つたやつ知つている人は知つているし。なんでだろ？ この世界のレベルが低くて涙が出ちゃいそう……

「メモメモ… 今回は貴重な情ホーク、ありがとうナーネー！ では授業をシユーリョーするノーネー！ では各自次の授業の準備をしつくノ一ね！」

そう言つて教室からでたクロノス教諭

こうなつたらいつそ今学期中に俺への用事で来てくれる海馬社長に授業レベルを上げてもらおうかな…

しかし本当にカード多いな。【ダイヤモンド・ドラゴン】が46枚
…海馬社長より持つてどうする…

…いつそオーフショーンで売るか？確かにこのカードの値段つて【真紅眼の黒竜】だと現実世界で数百円、こっちだと数十万だろ？
サポートカードが無ければ使えにくい【真紅眼の黒竜】を数十万で
買うか普通？これだつたらまだ数万円で機械族でLV5で攻撃力2
500の【サイバネティック・ワイバーン】の方が使えるわ！！
試しにオーフショーンで【ダイヤモンド・ドラゴン】をオーフショーン
にだそう。値段は200円からスタート……つていきなり2200
0円になつた！？次に26000円！？ちょっと待て！みんな早過ぎ…
た――――おかしい！金銭感覚おかしいだろ！！こいつらは全員
馬鹿だ……

気晴らしにデッキ作りしようとしたら通信端末にメールが入つて
る…誰からだ？

翔をオベリスクブルー女子寮で預かってるわ。助けたければ早くきて
たほうがいいわ。

by天城サクラ

ああー…そりいえばそんなイベントあつたなー…
確かクロノス教諭が偽ラブレターを書いたんだけど入れる場所を間

違えそれで翔が行つて捕まつた…こんな感じでいいんだっけ？
とりあえずテックを用意するか…今日はどんなテックに使用かな…

「おーい…魁いるか！」

「こーむだー！」

やつぱり十代にもきてるか…とにかく卑くどう

「魁！翔が捕まつた！」

「ああこいつにもそのメールがきてた。早く行くぞー！」

「おつかー！」

しかし…何故サクラからメールが…
まさか明日香と一緒に風呂入つてるとこ見られたか？
いや、それだとメールの文章が少しおかしい…

とにかく行けばいいか

ブルー女子寮

現在小船をギシギシこいでブルー女子寮の裏側に来ています。しかし暗くてよく見えないなー…翔はどこだ？

「おーい…翔、どこだー！」

「リリッスよ、アニキ！」

「やつと来たのね」

あら翔がみのむしみたいに縄でグルグルに縛られてる… そのすぐ近くに仁王立ちして明日香とその横にめんどくせうに立っているサクラ。そしてほか2名
あいつら2名に名前なんてあつたけ? 仮にあつたとしてもモブだろうな…

「おい明日香! 翔を返せ!」

「ふつ… 返して欲しければ、十代! デュエルしなさい!」

でたよ。この世界特有のルール、デュエル万能説!
デュエルで勝てば罪を免除するし情報を得るにもデュエルだし最終的にはどう考えてもリアルファイト要員の人達もデュエルで決着つけるし…… もうホセとかは恐ろしいほど力あるし… だって誰かのリアルダイレクトアタックのDホイールで攻撃を難なく片手で受け止めたからな? あいつは肉体暴力のほうが強いと思うぞ… と話がずれたな。とにかくデュエルでかたをつけるのか…
うん? それだと俺呼ばれた意味無くない?

「おい。俺やることないぞサクラ」(アイコンタクト)

「私はただ明日香があんたともデュエルしたいって言つから誘つたんだけど」(アイコンタクト)

なるほど。となると…

「十代! それに魁! あなた達2人で私に勝てた場合翔君を返してあ

げる！

「ちよつと待て。それ面倒だからタッグデュエルにしねえ？」

「「タッグデュエル？」」

よし。早く帰つてテックを作りたいからなるべく早く帰るための手段…タッグデュエルにくについてきたぞ！

「わう。ここので懲々2回戦うよつー回で済ませたほうが効率いいからさ。俺と十代でタッグ、明日香はサクラと組めばいいだろ？」「

「ちよつと待つてーそれには異議が…」「それ面白そりじゃんーやううぜ明日香ー」「ちよつと十代ー！」

「私は少し反対かな…前に魁とデュエルしたから…今は十代や明日香と戦いたいし…」

ちつ…サクラ…邪魔しやがつて…

「それを言つなら俺だつて魁とサクラとデュエルしてえよーーー！」

「じゃあそれ言つならタッグデュエルのパートナー交代しない？そうすれば私は明日香と十代と戦えるし十代は私と魁に戦える…いい話でしょ？」

ん？段々話がちよつとおかしい方向になつてないか？

「わかったーそれでいいぜー！」

「ちよ、ちよっと待つて！私は十代と魁とデュエル……別にいいじゃない？明日香も私と戦つて見たかつたんでしょ？」うひ…

勝手に話がどんどん進んでつてる……まあ俺は誰とでもいいけど…

「じゃあそれで決まり！俺と明日香対魁とサクラでタッグデュエルだ！」

「はあー…………もう別にそれでいいわ。ただし手加減しないわよ？」

「…………じゃあ、始めようか」

とりあえずペアが決まつたな……俺とサクラ／＼十代と明日香ルールはお互いライフ共有でライフは8000
ターン順番はサクラ 十代 俺 明日香 サクラという順番
そして最初プレイヤー、つまりサクラは攻撃できないが十代以降から攻撃できる
フィールド、墓地、除外は共有するが手札、デッキ、エクストラ／＼
ツキは共有しない…
簡単にいうとTFと同じルールだ

「……では始めるか！」

「…………^{デュエル}
「…………決闘…………」

「私のターン、ドロー！……リバースカードを2枚セットしてターンエンド！」

……昨日のデッキとは違うな…今日はカウンター系か？

「俺のターン、ドロー！俺は【E・HEROスパークマン】を召喚！行くぜ！スパークマンでダイレクトアタック！」

「リバ・スカーデオープン！【ヒーロー見参】！相手モンスターの攻撃宣言時相手は手札をランダムに1枚選択する！さあ、選びなさい！」

手札が4枚もある状態で【ヒーロー見参】？なにか上級モンスターの召喚を狙っているのか？

「俺は一番左のカードを選択する！」

「左のカード…それは【レアメタル・ドラゴン】…」

確かにあれって効果が一番短いモンスターでよね！？効果はこのカードは通常召喚できないといつ一言で書かれた効果を持つモンスターでよね？

「くつ…攻撃をやめる！スパークマン→メインフェイズ2で俺はリバースカードを1枚セットしてターンエンド」

俺のターンか…リバ・スカーデを確認するか…【ドゥーブルパッセ】？

何故こんなカードが？いったい何を狙っているつもりだ？

「俺のターン、ドロー！手札の【ゾンビキャリア】を墓地に送り【THE・トリックキー】を特殊召喚！そして魔法カード【おろかな埋葬】を発動！デッキから【チューニング・ソーター】を墓地に送る！そして【ジャンク・シンクロ】を召喚！効果により墓地から【チューニング・ソーター】を特殊召喚！行くぞ！」【チュ

「――ング・サポーター】にレバ4【ニアメタル・ドラゴン】にレバ3【ジヤンク・シンクロ】をチューニング！」

「「まさか魁もシンクロ召喚するのか（するの）！？」

「黒き翼に宿りし力！その力をここに現せ！シンクロ召喚！舞い上がり！【ブラックフューザー・ドラゴン】！【チューニング・サポート】の効果で一枚ドロー！」

うーん……やっぱつまだこのデッキは回りにぐうな……

「手札にあるカードを一枚デッキトップに置き墓地より【ゾンビキヤリア】を特殊召喚！」レバ5【THE・トリック】のレバ2【ゾンビキヤリア】をチューニング！数々の武器を手にする竜よ！その力をここに解き放て！シンクロ召喚！機械竜【パワー・ツール・ドラゴン】！【パワー・ツール・ドラゴン】の効果発動！デッキから装備魔法3枚選択しその内3枚をランダムに手札に加える！パワー・サーチ！」

来たカードは……

「……装備魔法【ビックバン・ショート】を【パワー・ツール・ドラゴン】に装備！攻撃力を400ポイントアップする！バトル！【パワー・ツール・ドラゴン】でスパークマンに攻撃！ビックバン・ブレイク！」

「罠発動！【ヒーローバリア】！これでパワー・ツールの攻撃は無効だ！」

「追撃しろ！【ブラックフューザー・ドラゴン】！ノーブル・ストリ

「ム！」

「ぐつ…スパークマン！」

十代&明日香 LP 6800

「リバースカードを2枚セットしてターンエンド！」

「私のターン、ドロー！手札から【融合】発動！手札の【エトワール・サイバー】と【ブレード・スケーター】を融合…現れなさい！【サイバー・ブレイダー】！」

「うおー全身タイツのバイザーをつけた女性…まさしくアレは【サイバー・ブレイダー】！確かにいつの効果つて少し弱いけど扱いによつては強くなると聞かれてる！でもどうやって使うんだろ？」

「【サイバー・ブレイダー】の効果！相手フィールド場のモンスターが2体の場合攻撃力を倍にする！パ・ド・トロワ！【サイバー・ブレイダー】でパワー・ツールに攻撃！」

「させるとと思うか？カウンタ・罠【攻撃の無力化】…相手モンスターの攻撃を無効にしバトルフェイズを終了させる…」

「くつ…私はリバースカードをセットしてターンエンドよ」

「私のターン、ドロー！…【翻弄するエルフの剣士】を召喚…」

「モンスターが3体になつたことで【サイバー・ブレイダー】の効果は変化する！パ・ド・カトル！」

これで【サイバー・ブレイダー】の効果でパワー・ツールは【ビッグバン・シート】の効果を失い攻撃力は元に戻る…それでも【サイバー・ブレイダー】は倒せるけど

「バトル!【ブラックフェザー・ドラゴン】で【サイバー・ブレイダー】に攻撃!ノーブル・ストリーム!」

「罠発動【ドウーブルパッセ】!このカードは相手モンスターの攻撃を直接攻撃^{ダイレクトアタック}として受け攻撃対象にされた自分モンスターは相手ブレイヤーに直接攻撃^{ダイレクトアタック}できる!」

明日香お得意の【ドウーブルパッセ】。このカード未OCGカードだから強制的に俺の禁止制限では制限いきだけどこれ壊れ効果じゃないからな……普通の禁止制限だと恐らく無制限だろ

十代&明日香 LP4000

「ぐつーお返しよ!」

魁&明日香 LP6900

「くつ……だけど次の攻撃は防げない!パワー・ツールで【サイバー・ブレイダー】に攻撃!クラフティ・ブレイク!」

「【サイバー・ブレイダー】が!?」

十代&明日香 LP3800

「そしてエルフの剣士で直接攻撃!彗劍斬!」

「ぐつ……」の程度！

十代&明日香 LP2400

「ふつ……リバースカードをセットしてターンエンド」

何か企んでる……サクラ……何をする気だ！？

「俺のターン、ドロー！魔法カード【強欲な壺】！カードを2枚ドロー！魔法カード【戦士の生還】！これにより墓地からスパークマンを手札に加える！そして【融合】発動！手札のスパークマンとクレイマンを融合！来い新たなヒーロー！【E・HEROサンダー・ジャイアント】！サンダー・ジャイアントの効果！このカードの召喚時このカードの攻撃力より元々の攻撃力が低い相手モンスター1体を破壊する！ヴェイパー・スパーク！」

これによつて破壊されるパワー・ツール……

「さらに手札から魔法発動【融合回収】フュージョン・リバーリー！これにより墓地から融合素材になつたスパークマンと【融合】を手札に加え【融合】発動！手札のスパークマンとエッジマンを融合！来い新たなヒーロー！【E・HEROプラズマ・ヴァイスマン】！プラズマ・ヴァイスマンの効果発動！手札を1枚墓地に送り【ブラックフェザー・ドラゴン】を破壊！スパーク・クラッシュ！」

くそ！まさか「」まで展開するとは……さすが十代。見事なチートドローだ！

「行け！サンダー・ジャイアントでエルフの剣士に攻撃！ボルティック・サンダー！」

今、俺は確かに見た。サクラの顔が一瞬にして悪役じみた満面の笑みを……い、いつたい何をするつもりだ？

「罠発動！【ドゥーブルバッセ】！」このカードの効果は相手モンスターが自分モンスターを攻撃対象にした時発動！この攻撃を直接攻撃として受け攻撃対象になつた自分モンスターは相手プレイヤーに直接攻撃できる！」

何故！？ここは普通【翻弄するエルフの剣士】だからそれを使わずに耐えればいいのに！？

魁&・サクラ LP4500

「ぐつ…ぐりいなさい！彗劍斬！」

「ぐあ！」

十代&・明日香 LP1000

「くそ、続けてプラズマ・ヴァイスマンド…」「何を勘違いしてるんですか？」「えつ？」

「この口調…まさか…？」

「今は私の攻撃の最中ですよ？」

「何言つてんだ！今は俺のバトルフェイズだぞ！お前は攻撃できな
い！」

「リバースカードオープン！速攻魔法【狂戦士の魂】！」

「『ゴーヤッぱつ…』」「『バ、【狂戦士の魂】？』」「

まさかこんな形で成立させるとは…

「手札をすべて捨て…効果発動！このカードはデッキからモンスターが出続けるまでカードをドローし墓地に送るカード…そしてその数だけ攻撃力1500以下は追加攻撃できる！」

うん、やっぱり出鱈目な効果だよね。そして恐らくデッキはほぼフルモンスターなんだな…

「まあ行くわよー！まず一枚目！ドロー！モンスターカード【レッグル】を墓地に送つて追加攻撃！」

「ぐわあああああーー！」

十代&明日香 LP・400

「2枚目ドロー！モンスターカード【バトルフューダー】！」

「ぐわあああああーー！」

十代&明日香 LP・1800

「ドロー！モンスターカード【トライヒューティア】！」

「うわあああああーー！」

十代&明日香 LP-3200

「ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！」

十代 & 明日香 LP - 8800

す」——ね……えつ止めろ? 無理無理あんだけ調子に乗つてると恐いへ
止めに掛かつた瞬間 H A N A S E ! ! とか言つだらう。誰かが
止める、または止まるまで待つ

「ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！ドロー！モンスターカード！」

十代&明日香 LP-25600

「ドローニュ... 騰カード【ドゥーブルパッセ】。よつてこじまで」

.....

みんなあまりのオーバーキルに啞然としてるよ…十代なんかく

「うこすもでぬ絶じる」

「じゃあ明日番。翔はつれて帰る」

「……え、ええい一わ。今日は楽しそうハルだつた……わ……？」

「うん普通やうこひ反応するよな。」

「いしょつと……案外十代つて軽いんだな……船に乗せ翔も乗せ退散、
退散……」

第5話 翔争奪戦？一触即発タッグデュエル！（後書き）

うん、ちょっと無理矢理だよね……わかってる。
でもこのタッグで組ませたかつたんだ！

魁「それにドゥーブルでバーサーカーできるのか？」

ですよね……ちなみにエルフの剣士でバーサーカーした理由は最初の遊戯王でエルフの剣士は散々な目に合つてそれでグレードバーサーカーしたと言う裏話があります……では次回予告！！

次の日は月1テスト！？

たくつ……対戦相手は万丈目か…
よし！ここでネタッキ使うか！

次回！【宇宙人襲来！脅威のデッキ破壊戦術！】

第6話 宇宙人襲来！脅威のデッキ破壊戦術！（前書き）

どうも雷光です。

まあタイトルで今回使うデッキわかりますよね？

魁「当たり前だ」

そうだよね。では今回の最強カードは…？

魁「今回の最強カードは…【シールド・ワーム】？簡単にデッキ破壊するには普通【ニードル・ワーム】じゃないか？まあいいか…このカードは召喚、反転召喚、特殊召喚に成功した時守備表示になる。さらに自分フィールド場に表側表示で存在する昆虫族モンスターの数だけ相手のデッキのカードを墓地に送る。

この効果は相手ターン特殊召喚しても使えるから結構使えると思うぞ」

作者はデッキ破壊は好きですよ。でもいつか自分に対してのデッキ破壊のデッキを作りたい…

第6話 宇宙人襲来！脅威のデッキ破壊戦術！

今日は月1テストか…
試験問題の時のようにおかしい問題でてこないよな…
とりあえず早く行こうか

デュエル・アカデミヤ内

うん、ちょっと早く着いたちゃったね。テストまで残り10分…
何してようかな…

とりあえず実技テストではまだ使ってないデッキを使おう。

使ってないデッキは…ローレベル、ハンデス、ロック、エクゾディア、エクシーズ…そして新たな入れたデッキ破壊、無限ループ、3つ買いスター・デッキ改良版…

やっぱり3つ買いスター・デッキはいいよね。3150円でそれなりの強さを誇るデッキが作れるし

どれにデッキ使おうかな…

ほかにも使いたいカードがあるけどもうまく作れない…例えば

【ゲート・ガーディアン】【セイヴァー・スター・ドラゴン】【ライフ・ストリーム・ドラゴン】【機皇神マシニクル】とかその辺活躍させたいな…

とか考てる間に筆記試験が始まつた。じゃあ頑張ろうか！

第1問

【白魔道士ピケル】が被つている帽子は何の動物でしょう？

……だからこいついう問題やめてくれません?

第2問

永続罠【最終突撃命令】のカードイラストに兵士は何人いる?

……わかるか！こんな問題！

第3問

罠カード【針蟲の巣窟】に蟲は何体いる？

巣窟つてこの頃からありましたつけ？

その後もよくわからない問題が出てきた…

それでもちゃんとした問題が20問もあつてよかつた…

で現在、実技試験まで休憩タイム…どうやら新しいパックが入荷されたらしいけど俺多分持つてているから買いに行きません

「魁！新しいパック買いに行こうぜ！」

十代がこっちに来た

「俺はバス。 実技試験でどんな「テッキ」を使おつか考へてるか?」

「ナニか…じゃあまた後でな…」

「あべさま立ち去る十代… あーっと… どんな「テッキ」を使おつかな?」

「またお悩み事?魁」

「よおサクラ。 実技テストで何使おうか考へてる最中… まだ使つてない「テッキ」を使おうと思つてんだけど…」

「ふーん… そ、うだー、ドーローパン買つてきたから食べる?」

「ドーローパン… それは全世界共通で「デュエル・アカデミヤ」の名物… その名の通り選んで食べるまで何が入つてゐるからわからないパン… まさしく「ギャンブルパン」…

「デュエル・アカデミヤ名物ドーローパンか… よしーーーつ買おつてしまいか!」

「パシッとー俺はーーーつ取り勢いよく開けドーローパンを食べた

「つて辛つーーーー? 何この辛さー? 喉が逝かれまつたつーーーー!」

「あつそれ幻の激辛カレーDX味。 確か通常の激辛の56倍の辛さを誇る生徒の中ではハズレと名高い幻のパン…」

「Kじめーーーよくこんなもん製品化したなーーー!」

「ちなみにこの学園の中でたつた1人だけこの激辛カレーDXを食

べれる人がいるらしいわ」

誰だよその生徒！…ぜひ会ってこのパン食べさせたいね…！」

「じゃあ私も実技の準備してくるね」

「どうぞ勝手に行つてくれ…たく…今後一生ドローパンなんて食わん！」

その後辛さが引き立ッキも決めた俺は十代と万丈目の戦いを見てた
んだが…

「「はあ…………」」

「?.どうして2人共ため息ついてるの？」

「やっぱりサクラも同じこと思つてたか」

「サクラ、今回たまたま十代が勝ちを拾えてよかつたな」

「そうね。万丈目がフレイニングミスしなければ十代は負けてたわね」

「ちょっと2人共、どういう訳か説明して？」

あら？ 明日香はわかつてないのか？

それともVWXYZの合体を見てその前の事に気づいてないのか？

「お前見てて気づかなかつたのか？ 最初のVWの攻撃で十代のライ

フは2800になっていた。そして次のターン、XとYとZを召喚した。ここで合体してXYZにしたのが万丈目のプレイングミス

「どうして？」

「それは私が説明するわ。XとYとZ召喚してそのまま攻撃すればいくら【ヒーロー見参】を使っても防ぎきれない。だけど手札にエッジマンがあつたら別だけだ……」

その言葉に明日香がそんなミスが……と言っているが気づけよ。あんなの小学生でもミスしないと思うぞ

ほかには【ハネクリボーレv10】が出た時攻撃を中止すれば次のターンVWXYZの効果使ってLv10を除外してフェザーマン攻撃……それでもこの状況が続けば十代が【ホープ・オブ・ファイフス】でも引いて自分フィールド、手札が0なので3枚ドローして原作効果バブルマンを召喚2枚ドローとか使って逆転するんだろうけど

「次は俺か。じゃあ頑張つてくる」

「じゃあ頑張つてきて」

「そつまつて俺が決闘場デュエルフィールドに行くと……

「くつ……十代には負けたが魁！貴様だけには勝つてやる！」

万丈目がいるんですよ……何故？

「あの時散々馬鹿にして来なかつた恨み……ここで晴らさせてもらつぞ……！」

馬鹿にして来なかつた恨み……？……ああ……そういえばメールで呼ばれてたな……でも俺サクラのほうに行つて行けなかつたんだよなよし『テッキホルダー』から『テッキ』を取り出しディスクにセット……

「『テュエル』
決闘……！」

明日香　ひの　か

今まさに魁と万丈目君の『テュエル』が開始された……先攻は魁から今回はどうなん『テッキ』を使うのかしら？

「俺のターン、ドロー……」

なんかすゞい困惑顔になつてるんだけど……もしかして手札事故？

「モンスターをセット！リバースカードを4枚セットしてターンエンド！」

いやこれは試験の時と同じ動き……といつ事はまた銀河眼ギャラクティクスを出すの？

「ふん！早速手札事故か！俺のターン、ドロー！魔法カード【打ち出の小槌】を発動！手札のこのカードを含む手札のカード3枚をテッキに戻し3枚ドロー！」

また出たわね。今度は魁やサクラが言つていたプレイイングミスをしなければいいんだけど……

「【× ヘッヂ・キャノン】を召喚！さらに永続魔法【前線基地】
-】の効果で手札から【× ドラゴン・ヘッヂ】を特殊召喚！ヘッ
ド・キャノンとドラゴン・ヘッヂを除外して合体召喚！【×× ド
ラゴン・キャノン】！行け！【×× ドラゴンキャノン】-ハイパ
ー・ディストラクション-」

「罠発動！【和睦の使者】-このターン自分モンスターは戦闘では
破壊されずこのターン発生する戦闘ダメージは0となる！そしてセ
ットモンスターは【メタモルポット】-【メタモルポット】の効果
発動！お互いの手札をすべて捨てその後お互いに5枚ドローする-」

「なんだと…？くそ！俺の【× メタル・キヤタピラー】が…」

その言葉を聞いた瞬間魁は呆れ顔になった。なんで？

「く…ドロー！リバースカードを2枚セットしてターンエンデ-」

「俺のターン、ドロー！すまん、万丈目…俺の勝ちだ」

魁が勝利宣言？といふことはこのターンで万丈目君を倒すつもり？

「俺はモンスターをセット。そしてさらに魔法カード【太陽の書】
！これでさつきセットしてモンスター【ニードルワーム】の表示形
式を表側攻撃表示にする！【ニードルワーム】の効果発動！相手の
デッキの上のカードを5枚墓地に送る-」

「はっ！それがどうした！」

確かにそんな効果どうって事ないわ。でもサクラはあちゃーって顔

してるし…魁は何かをするつもつなの?

「リバースカードオープン！【リビングデットの呼び声】…この効果により【メタモルポッド】の効果で墓地に送られた【シールド・ワーム】を特殊召喚！【シールド・ワーム】の特殊召喚に対しても札から速攻魔法【地獄の暴走召喚】を発動！」

【地獄の暴走召喚】？いったいどんな効果かしら？

「【地獄の暴走召喚】の効果！自分が攻撃力が1500以下のモンスターを特殊召喚し相手フィールドに表側表示モンスターがいる時発動！相手は自分モンスター1体を選択しそのモンスターと同名モンスターを手札、デッキ、墓地から特殊召喚する！そして自分は特殊召喚されたモンスターを攻撃表示で特殊召喚する！ただし【XYドラゴン・キヤノン】は融合モンスターだから特殊召喚できない」

「ふつ！雑魚を並べてどうする…」

「今からお前はその雑魚にやられんだぜ！デッキから【シールド・ワーム】2体を特殊召喚！【シールド・ワーム】の効果発動！このカードの召喚、反転召喚、特殊召喚時このカードは守備表示になる！さらに自分フィールドに存在する昆虫族モンスターの数だけ相手デッキの上のカードを墓地に送る！俺のフィールドに昆虫族は4体！そして特殊召喚した【シールド・ワーム】もこの効果が適用されるから合計12枚を墓地に送つてもいいぜ…」

「まさか…この戦術…」

「まさか…この戦術…」

「やつた気づいたか…このデッキはデッキ破壊だ！そして俺は…」

4の【シールド・ワーム】2体でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！狂いし発条を修正する力！【発条機甲ゼンマイスター】…

「…………エクシーズ召喚！…？」

魁はシンクロ召喚を行うからエクシーズ召喚もできると思つてたけど…まさか本当に使うなんて…

「さらにゼンマイスターの効果！1ターンに一度オーバーレイユニットを1つ取り除いて【メタモルポット】を裏側守備表示に変更する！そして手札から魔法カード【死者蘇生】…これにより墓地から【シールド・ワーム】を特殊召喚！【シールド・ワーム】の効果発動！今度は3枚墓地に送る！」

「そんな…俺のデッキが…」

「そしてさらにレバ4の【シールド・ワーム】2体でオーバーレイネットワークを構築！エクシーズ召喚！狂いし発条を修正する力！【発条機甲ゼンマイスター】…そしてゼンマイスターの効果発動！1ターンに一度オーバーレイユニットを取り除き今度は【ニードルワーム】を裏側守備表示に変更する！エンドフェイズ！ゼンマイスターのもう一つの効果！このターン自身の効果で裏側守備表示にしたモンスターを表側攻撃表示にする！これにより【メタモルポット】と【ニードルワーム】を表側攻撃表示に変更！」

「あ……ああ……」

「まず【メタモルポット】の効果発動！お互いの手札をすべて捨てその後お互いに5枚ドローする！次に【ニードルワーム】の効果発

動！相手のデッキの上のカードを5枚墓地に送る！』

万丈目君のデッキが…

「俺の……デッキが……0……」

『……し、勝者宗野カイー……』

デュエルが終わった瞬間それくまと逃げ出した魁……まさかここまで強いとは…

第6話 宇宙人襲来！脅威のデッキ破壊戦術！（後書き）

今回はつまらない話ですね。

ただのデッキ破壊ソリティア…かな？

今後はデッキ破壊の出番ないかも

では次回予告！

今日も今日で楽しい学園生活！

怪談話をしてみんなで探検に行こう？

よし話乗つた！

次回！【VSタイタン！悪魔と天使の大決戦！】

次回もお楽しみに！！

魁「そして次回ついにストックが切れる！」

それはヤバイ！！

第7話 √Sタイタン－悪魔と天使の大決戦！（前書き）

魁「まあ大決戦といつほど派手な戦いではないと思つがな」

……ズー——ーン……

……ストックが切れたな……やばいな……

魁「そんなに前書きが落ち込んでると見てくれてる人が右上のバツを押すぞ！」

そうだな……

……では！心を再起動させ！魁！今回の最強カードは！？

魁「オッケー！今回の最強カードは【デビルマゼラ】！」

このカードは通常召喚できない。このカードは【万魔殿 悪魔の巣窟】があつて自分フィールドに表側表示で存在する【ゼラの戦士】を生贊にささげて特殊召喚できる！

このカードが特殊召喚に成功した時相手の手札を3枚ランダムに墓地に送る！この効果は【万魔殿 悪魔の巣窟】がないと発動できないけど召喚時限定なのでなんか微妙効果だぞ！

【デビルマゼラ】誰かに盗まれました。まあ今はドラグやジャンド使つからいいんだけど…

諸事情によりデュエルを少し変更

第7話 √Sタイタン！悪魔と天使の大決戦！

「いつも皆様魁です。前回のデッキ破壊はやりすぎた…以後反省
そこで今十代達と特殊な怪談話をしてるんですが…

「なにこれえ？またエクシーズモンスターかよ」

「あちやー…これで魁は3回連続バスか…魁の話も聞いてみてんだ
けどなー…」

「僕は「めんツス」

「俺もなんだな」

そう…この怪談話…デッキから引いたモンスターの「」の数と同じ
「」と思われる怪談話をしなければならないのだが…そう
エクシーズモンスターは「」ではなくランク。そこで俺だけエクシ
ーズモンスターを引いてバス…俺だけハブられてる…

「みんな…何してるんだニーヤ？」

「うわあ！大徳寺先生！」

俺も一瞬ビックリした！いきなり出てこないでくれ、大徳寺先生！

「今みんなと怪談話してるツス」

「怪談話かニヤ…」

そう言つて大徳寺先生はカードをめくつた… L V 1 2 【F・G・D】

？俺入れた覚えねえぞ。仮に誰か持つてたとしてもこの世界だと數
千万するぞ？

「みんなこういつ話聞いたことあるかニヤ？」

十代はワクワクしながら大徳寺先生をほうに行き翔と隼人はすでに
壁側に行きビクビクしている…お前らどうじるの早過ぎ…！

「ニニニデュエル・アカデミヤには昔、特待生寮があつたニヤ」

その後大徳寺先生の話は続き十代はワクワクしたまま聞き翔と隼人
は壁側で耳を塞いでいる

まあ怪談話はいたつてシンプル。その特待生寮で行方不明者が出来
らしい

…で大徳寺先生が立ち去つた後好奇心旺盛な十代が一言

「よし！その廃寮に探検しに行こうぜー！」

「俺もその意見には賛成。で翔、隼人お前らがどうする？どんな返
事しても拒否権は無いがな」

「ひ、ひどいッス！」「そ、うなんだな！」

「「じやあ廃寮の探検に行つてみよう…！」」

実は俺怪談話とか夜の学校探検とか好きなんだよ…。
さあーて、準備準備…

という訳で廃寮に着いたんですが、原作だとここで明日香と会うはずなんだけど……俺が入った事で時間がズレて鉢合わせしなかつたのかな？

しかし見事な壊れよう……窓ガラスは割れとこりびりに蜘蛛の巣
廃寮越えてドラキュラ城になつてんじやないか？

「アニキ！ もう帰る？ よ！」

いいじゃん！早く行こうぜ！

てかこの廃寮に何があるかな？死体は嫌だけどミイラとかあるとい
いな！

「うわ……真つ暗ッスね……」

一
氣味悪いんだな」

「気味が悪いから」『面白』いんだろ？
それをわかつてくれないとは
ん？下に写真が……

「 もやああああああああああああああ-.-.」

「—の声！？」

「明日香の声だ！」

「みんな…声がした方向に行くぞ…」

「みんな…声がした方向に行くぞ…」

「 もう一人も… 我の面前はタイタン…」

「 出た… ————— 若本 !

「この癖のある声…喋り方…」 這是本物の若本だ !

「 そこのお…貴様らあ…特に魁と十代とか言つ奴う…」 は我とデ
コヘルをしろお…貴様らあが勝つたら…」この女を帰してやる…」

「 いいぜー…受けてたつてや 「待て ! 十代…」 は俺にやらせてくれ
! 」 わ、わかった (魁がすげえワクワクした顔になつてゐる…)

確かに若本と戦える最初で最後の場面だろー。」 は俺がやりてえ !

「 魁い… 貴様から来るのか… いだろつー受けてやるつー… ただし
…闇のゲームだ !」

「 いいぜ… 受けて立つてやる、闇のゲーム !」

まあ偽なんだけど

「 「 決闘…」 「 デコヘル

「 負けるなよ、魁 !」

「頑張れ！」

「気張るんだな！」

ギヤラリー……応援してくれるのは嬉しいだけ少し黙ってくれ

「我が先攻…ドロオーー！」

あつとか言つている間に先攻とられた

「手札の【ジエネラルデーモン】を墓地に送りデッキから【万魔殿
悪魔の巣窟】を手札に加ええ…そのまま発動！」

辺り一帯が気味悪いフィールドになつた…うん俺結構こうの好みだぞ

だけどね……今回の俺のデッキ。それとは真逆だぜ？

「そして【デーモン・ソルジャー】を召喚！リバースカードをセットしてターンエンドだあ…」

「俺のターン、ドロー！手札から永続魔法【神の居城 ヴァルハラ】を発動！そしてヴァルハラの効果発動！自分フィールドにモンスターが存在しない時手札から天使族モンスター1体を特殊召喚する！」

「なんだとあー！」

「この効果で【天空勇士ネオパーシアス】を特殊召喚！そして墓地にモンスターがいなため【ガーディアン・エアトス】を特殊召喚！バトル！ネオパーシアスで【デーモン・ソルジャー】に攻撃！」

「ぐうー！」

タイタン LP3600

「ネオパーシアスの効果で一枚ドロー－エアトスで直接攻撃！フォビドゥン・ゴスペル！」

『はああああー！』

エアトスが地面に光の剣を刺しその余波が若本に向かう…

「罠発動！【ドレインシールド】！相手モンスターの攻撃を無効にしその攻撃力分だけ自分ライフを回復させる…」

若本の周りにバリアが張られエアトスの攻撃は2つに割れ周囲の壁にぶつかった

タイタン LP6100

「これでターンarend」

「我のターン、ドロー－手札から装備魔法【早すぎた埋葬】を発動う…」

もつこいよ、禁止カードね。はいはい進めて進めて

「この効果によりライフを800払い墓地から【デーモン・ソルジャー】を特殊召喚！さらに【デーモン・ソルジャー】を生贊にしてえ…【迅雷の魔王 スカル・デーモン】を召喚！」

タイタン LP5300

「出たよ。リメイク版【デーモンの召喚】確か効果は相手のカード効果の対象になつた時だけ発動するはず

「そして装備魔法【デーモンの斧】をスカル・デーモンに装備！これで攻撃力は3500だ！行け、スカル・デーモン！【ガーディアン・エアトス】に攻撃い！怒髪天昇撃！」

「くつ…くそ…」

魁 LP3000

「そしてライフを減ることでこいつの体は消えるう……リバースカードをセットしてターンエンドだあ…」

俺は光を見ない為に目を瞑り光がやんだら目を開けた。十代達がなんか消えてるとか言つているけど無視

「俺のターン、ドロー！【ジエルエンデュオ】を召喚！そして魔法カード【二重召喚】^{デュアルサモン}を発動！このターンもう一度通常召喚を行える。そして【ジエルエンデュオ】は天使族・光属性モンスターを生贊召喚をする時このモンスターは1体で2体分の生贊にできる…」

「なんだとあ…！」

「【ジエルエンデュオ】を生贊にして【マスター・ヒュペリオン】を召喚！ヒュペリオンの効果発動！墓地の【ジエルエンデュオ】を除外してスカル・デーモンを破壊！」

「スカル・デーモンの効果発動！このカードが相手のカード効果の対象になつた時サイコロを振り、出た目が1・3・6だったらその効果を無効にして破壊する！」

「スカル・デーモンの効果発動！このカードが相手のカード効果の対象になつた時サイコロを振り、出た目が1・3・6だったらその効果を無効にして破壊する！」

「回りだしたサイコロ……出た目は……？」

「ば……馬鹿な！」

「驚いてても万魔殿の効果で手札に【デーモン】を加えるのね。えらい、えらい

「これでお前のスカル・デーモンは破壊！行け！すべてのモンスター
一^{パンティモニウム}で直接攻撃！」

「ぶるるるああああ……」

タイタン LP300

「ネオパ・シアスの効果で一枚ドロー。これでターンエンドだ」

「私のターン、ドロー！ふつ！魔法発動【命削りの宝札】！」

困った時の「都合ドロー…あれ？もしかして俺に負けフラグ？

「この効果により手札が5枚になるようにドローし5ターン後すべての手札を墓地に送る！ドロー！」

にやけだぞ！今引いたカード見てにやけだぞ！

「来たあ……来たぞ……我がデッキの最強カード……！」

「そんな……スカル・デーモンが切り札じゃないのか……？」

いや十代。誰も切り札とは言つてないぞ。勝手に思い込んでるお前の頭の^{いたずら}に俺は再び泣きそうになるぞ

「私は【ゼラの戦士】を召喚！」

ゼラの戦士^{パンティモーラム}…万魔殿…あれをだすつもりか！

「【ゼラの戦士】を生贊に……我が最強の悪魔！【デビルマゼラ】を特殊召喚！そして【デビルマゼラ】の効果発動！相手の手札を3枚ランダムに捨てるう……もつともお……貴様の手札は2枚のみだからそれを捨ててもうおづか……」

「くそ！【天空騎士パ・シアス】と【墮天使アスモディウス】が……」

…

「そして装備魔法【デーモンの斧】を【デビルマゼラ】に装備！【デビルマゼラ】で【マスター・ヒュペリオン】に攻撃い！魔界の咆哮！…」

【デビルマゼラ】が右手の爪に闇のパワーを集めそれでヒュペリオンを切つた！…えつ？これで咆哮？

魁 LP1900

「驚きすぎて声もお出ぬかあ……これでターンエンドだ」

今、俺のフィールドには【**天空勇士パーシアス**】1体のみ。永続魔法のヴァルハラは役にたたない。そして手札は0。……面白い。ここから逆転してやるよ！

「俺のターン、ドロー！……リバースカードをセットしてネオパーシアスを守備表示にしてターンエンド……」

「ははは！ 我の勝ちはもうすぐだ！ ドロー！ 【デーモン・ソルジャー】を召喚！ 【デビルマゼラ】でネオパーシアスに攻撃！ 魔界の咆哮！」

「まざいぞ！」のままだと魁が負ける…

「これで終わりだ！ 【デーモン・ソルジャー】で直接攻撃！ ははは！」

「魁…………！」

「お前ら少し黙れ！ 速攻魔法発動【収縮】！ これで【デーモン・ソルジャー】の攻撃力を半分にする！」

魁 LP 950

「ちひり……倒しそこねたか……これでターンエンドオ…」

これで正真正銘の最後のドロー。負けても死ぬ訳じゃないけど負けるのは悔しい。だから……俺は勝つ！！

「……俺の…………ターン…………！」

引いたカードは……

「来た！魔法カード【貪欲な壺】を発動！墓地の【マスター・ヒュペリオン】【天空勇士ネオバーシアス】【ガーディアン・エアトス】【墮天使アスマディウス】【天空騎士パーシアス】をデッキに戻し2枚ドロー！」

これで俺の勝利の方程式は完成した……

「たかが手札が2枚で何ができるう？」

「手札が2枚もあれば十分だ！ヴァルハラの効果発動！自分フィールドにモンスターが存在しない時手札の天使族モンスターを1体特殊召喚する！来い！闇に墮ちし大天使の翼！特殊召喚！【墮天使ゼラート】！」

「だが攻撃力2800で何ができる！」

「こうすればいいんだよ！【墮天使ゼラート】の効果発動！手札の闇属性モンスター【クリボー】を墓地に送り相手モンスターをすべて破壊する！」

「バカなあ！！」

「よつしゃーー！」

喜ぶ十代、そして行けー！という翔、泣きながらやつたんだなと言つている隼人……別にこれ命がけのデュエルじゃないから平氣だぞ？

「【墮天使ゼラート】で直接攻撃！すべて消し去る一撃……フォーリン・ジャッジメント……！」

「ぐわあああああ……！」

タイタン LP - 2500

「約束通り明日香は返してもらいたい」

「へつ……勝手にしろ……！」

そう言つてこの部屋から出て行つた若本……あつあいつ名詞落としやがつた。とりあえず拾つておくか

「しかし楽しい探検だつたな……！」

「「うとも楽しくな……（だな）……」

十代が言つた一言に翔と隼人は怒つた。まあまあ……また今度こりこり来ましょうよ

第7話 ＶＳタイタン！悪魔と天使の大決戦！（後書き）

という訳で若本は飲み込まれませんでした。あんなにキャラが濃いのに原作では出番が少なすぎて私ショックでした。

魁「しかし廃寮探検楽しかった！」

では次回予告！

えつ！？廃寮に探検に行つてた事がバレ退学！？
しかし処置として十代と翔はタッグ、俺はシングルで勝てば許す！？
良いぜ！その条件受けてやる！

次回！【歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙】

次回もお楽しみに！

今回は長くなつたので前編と後編に分けちゃいました。
もしかして今回は糞展開かもしません！－いやな方は回れ360度！

魁「変わつてないじゃん」

または右上のバツを押してください

そして今回の最強カードは！？

魁「もう…！」、今回の最強カードは【ライフ・ストリーム・ドラゴン】！

このカードをシンクロ召喚する時シンクロ素材は【パワー・ツール・ドラゴン】とチューナー1体が必要だぞ！

このカードのシンクロ召喚に成功した時自分のライフを4000にする事ができる。このカードが表側表示で存在する限り自分への効果ダメージを無効にする。このカードが破壊される時代わりに自分墓地の装備魔法を1枚除外する事ができる！
専用デッキを作れば結構強いぞ！

では本編行つてみよ！

？？？Side

「宗野…魁か…」

今俺はある人物の情報を見ている…
…特におかしいところはないが…

「エクシーズ…召喚…」

デュエル・アカデミヤの校長、鮫島から聞いた話によると宗野魁は
謎の召喚方法エクシーズ召喚をしたらしい

俺は宗野魁の情報が入った紙をデスクに置きその隣の紙を見た

「……天城…サクラ…」

デュエル・アカデミヤの試験会場で謎の召喚方法シンクロ召喚だし
た女子生徒

…そして…遊戯以外に負けた事が無い俺を…倒した…ただ一人
の決闘者…
デュエリスト

俺はしばし考えある結論にたした

「宗野魁は…天城サクラと同じ『転生者』か…」

見たことが無い召喚方法…天城サクラが言っていた情報…
そして銀河眼…
ギャラクティクス

「これだけあれば宗野魁が転生者だとすぐわかる…

「…磯野」

「はつー！」

「ペガサスに例の物が出来てるか聞いて来い」

「はつー！」

「ふうん…面白い…」

近日中貴様の実力見せせてもらおうかーー

「くつくしょん…ああ…寒くなんか無いのにくしゃみとか…誰か俺の噂をしているのか？」

魁 Side

「それとも若本と戦った寝ずにデッキ作成していたからそれで風邪ひいたか？」
「しかしこのデッキ…バランスが…もう少し特殊召喚のギミックを入れるか？」
「いやそれともモンスター、魔法、罠対策を入れたほうがいいか！？」
「どうしよう…」

「おー！今すぐここを開けろー。でも無いと爆破をせらるー！」

誰だよ来たの…

しかも今すぐ開ける？さも無いと爆破？はあー… 今時そんなの子供でも引っ掛けかりしないって

「開く気配が無いな……よし今すぐこ4爆弾を取り付けるぞー。」「

「了解！！」

「ちょっと待てー！それ死ぬぞ！扉が盾にもならずに死ぬからーー！」

俺が勢いよく開けた先にこ4爆弾を持っている生徒が数名…怖…！

「倫理委員会の者だ。おとなしくつっこないことにA.K 47で撃つぞ」

「冷静に怖い」と言わないでくださいーーそして銃刀法違反で捕まりますよ貴女！？」

「大丈夫です。倫理委員会ですから」

「どこが大丈夫なんだよーー！」

「でも死にたくないから素直について行つた」

「……た、退学…？」

『あなたがたは深夜立ち入り禁止の特待生寮に入り、中から物を破損及び盗んだという証言がありました』

確かに俺達は立ち入り禁止の特待生寮に入った！しかも俺、中で気味悪い頭蓋骨があつたから遊び半分で蹴つたら割れだし！帰る途中にお金（50円）を拾つたし！若本が落とした名刺を拾つたし！くそー！反論できない！証言が完璧すぎる！

「ちょっと待て！確かに俺達は廃寮に入つたけど物を壊したり、物を盗んだ覚えは無いぞ！」

『さうですか……ではここには制裁デュエルで決めましょうか』

「『制裁デュエル？』」

『デュエルで決めるんですか……明日香と同じだな

聞いた話によると十代と翔はタッグ、俺だけシングルらしい勝つたら無罪放免、負けたら退学……正確には俺だけ負けても謹慎らしい……

恐らく成績はそれなりに良いしまだ銀河眼ギャラクターズの件があるからだな。いやー……まさかこんなところまで銀河眼が効いているとは……

そこでやるのは数日後。それまでの間にデッキ調整をしろと……

「とにかくデュエルで勝てばいいんだなー！..」

『そういうことですね』

「よし、わかった！翔！帰つて早速特訓だ！」

「待つてよ、アーリー！」

いやー……若いっていいね……あんな元気で……

……はつー今、俺すげえおっさんぽい事言つちやつたーー！

んで帰つて来てただいま『テック調整』
やはり【巨龍の羽ばたき】を入れておくか？本当なら【大嵐】入れ
たいけどこっちの禁止制限だと禁止だから使えない
・手札交換のために【手札断札】入れておくか？いやむしろ【手札
抹殺】を入れておくか

そんな事をしてる内に日はどんどん進んで行き……

制裁デュエル当日

うん！いい感じに出来てんじゃない？前と比べたら事故率が減つた
ぞ！ほんのすこし……

しかしこの『テック』【サイバードラゴン】も入れたかったな……
でも【サイバードラゴン】入れても【トレード・イン】のコストに
ならないし機械族だからこの『テック』のシナジーしないし……
だから事故要員になっちゃんだよね。すまんな……いつか専門『テック』
作つてやるからな

後、前日サクラがカイザーを殴つたらしい。しかも喧嘩じゃないら
しいデュエルで……まさかサクラがリアルダイレクトアタックする
なんて……でもその前に闇のゲームじゃないから殴つても痛くない
だろ？となるとサクラが直に殴つたのか？デュエル中にどうやって
…？

とか考てる間に十代達が入場……相手は迷宮兄弟か……

開始1ターン目は皆様様子見…かと思いきや弟が【生け贋の人形】^{ドール}を発動。これで【風魔神 ヒューガ】が出てきた。なるほど…効率は悪いけど【ゲート・ガーディアン】テッキ作成の為に参考になるな…

さらに魔法カード【闇の指名者】兄を指名し【雷魔神 サンガ】を宣言。兄は自分のテッキから【雷魔神 サンガ】を手札に加える。【闇の指名者】ってそんな使い方があつたんだ…

翔が融合を発動…これで【スチームジャイロイド】を召喚。そして攻撃。しかしヒューガがその攻撃を無効。

ヒューガは原作効果か…

個人的には【スチームロイド】召喚して攻撃、その後融合だな。まあどっちにしろ防がれるんだけど…

兄は魔法カード【死者蘇生】でさつき【生け贋の人形】^{ドール}で墓地に送られた【地雷蜘蛛】を特殊召喚。そして再び【生け贋人形】^{ドール}の効果で墓地に送られ【水魔神 スーガ】が出た。さらに【カイザーシーホース】を生贋にして【雷魔神 サンガ】を召喚、そしてそのまま合体！【ゲート・ガーディアン】！…今合体しなくていいだろ

その後頑張つて十代達は【ゲート・ガーディアン】を倒したが兄のターンでアニメオリジナル魔法カード【ダーク・エレメント】を発動。ライフを半分払いアニメオリジナルカード【闇の守護神 ダーク・ガーディアン】を特殊召喚。でも攻撃力3850で戦闘破壊されない効果つて…いらないだろ

んで攻撃。しかし十代は罠カード【ヒーローバリア】で阻止。そこで兄のターンは終了

落ち込んでる翔に十代は励ましの言葉を出す
翔は立ち直りました。頑張れ、頑張れ

…えつ？もう少し心配しろ？大丈夫だろ。ここで負けるとアニメが続かないから勝つって

十代のターン、【E・HEROテンペスター】を融合召喚。スカイスクレイパーを発動。テンペスターでダーク・ガーディアンに攻撃！？何をやりたいんだ十代！？

弟のターン、異カード【一騎打ち】を発動。だけど外のジェット機の音で効果が聞こえない！

弟はそのままターンエンド。何がしたかつたんだ？それで翔のターン、【ドリルロイド】を生贊にして【ユーフォロイド】を召喚。魔法カード【パワー・ボンド】効果は知っているから良いけど何言つてるか、外のジェット機の音でわからん！

テンペスターと【ユーフォロイド】を融合。【ユーフォロイド・ファイター】……乗つただけで攻撃力も合体とか……【ゲート・ガーディアン】可哀想……【ゲート・ガーディアン】なんかくつついただけで三魔神の攻撃力合計から2割れたんだぞ？しかも【パワー・ボンド】だから攻撃力は倍……スタッフ、あんたたちは【ゲート・ガーディアン】が嫌いなのか！？

そこで【ユーフォロイド・ファイター】で攻撃。迷宮兄弟のライフは0。これで十代達の勝利、退学は免れたがその代わりレポート3枚……ひどいね

次は俺か。さあって対戦相手は誰だろ？

「それで一ハ！ただいまより制裁シングルデュエルを始めるノーネ！」

会場は一気にボルテージマックス！！十代達やオシリスレッドが頑張れとか言っているけど対するオベリスクブルーは負けちまえと言っている……俺を倒せる奴なんてそういうないって
いとしたらメインの原作キャラ、原作のボスキャラ、サクラぐら
いだひ。ああ後、若本

「では対戦相手入所ジョーーー！」

ダ―――ッ！―とでかい音と煙が出てきてそこから出てきたのは……

「う……そ……だろ？」

対戦相手は……

「ふうん、宗野魁。制裁デュエル及び今学期中の約束と為に懲々來
てやつたぞ！」

「宗野カイーの対戦相手はかの有名な会社、ＫＣ社長『海馬瀬人』
なノーネ！！」

「「「「「「おおおおおおおおおおーーー！」」」」

あの、白い「ー」……

気高い目……

腕を組み威風堂々歩いてくるこの姿……

まさしく……本物の海馬社長……

……たく……今日は【フルバーン】の「テッキにするつもりだったけどやめだ。」には数日前から組んでいたこの「テッキを使わせてもらおうか……

「手加減はせんぞ」

「わかつてますよ」

全力で行かせてもらひやー……海馬社長！

「「「決闘！」」「

「俺のターン、ドロー！……魔法カード【手札抹殺】を発動！お互いの手札をすべて捨て！その後捨てた枚数分テッキからカードをドローする！」

「くわーおのれ……！」

海馬社長が捨てたカードは……

【青眼の白龍】
【青眼の白龍】
【青眼の白龍】

【融合】
【融合解除】

はあーーー？

【手札抹殺】が無ければ、ターンキルされてたぞ…！」

「…手札をモンスターカード【グローアップ・バルブ】を墓地に送つて手札から【THEトリックキー】を特殊召喚！さらにトリックキーのレバを1つ下げ【手札抹殺】で捨てた【レベル・ステイラー】を特殊召喚！さらに永続魔法【冥界の宝札】を発動！トリックキーとステイラーを生贊にささげ…【銀河眼の光子竜】を召喚…【冥界の宝札】の効果で2枚ドロー！リバースカードを2枚セットしてターンエンド！」

このデッキは試験の時に使ったデッキをある方面を少し入れたデッキ…生贊召喚が少し少ないけどそれでも【冥界の宝札】が無いと回りにくいデッキ…初手に来てよかつた

「俺のターン、ドロー……ふふふふ…ふははははははは…貴様、いくじり青眼を墓地に送つたとはいえそれで安心するのはまだ早いぞ」

「何だと…」

まさか【龍の鏡】を使つ氣か！

「見るがいい…貴様よく知つてゐるやうかただ…相手フィールドのみにモンスターが存在する場合…このカードは手札から特殊召喚できる…俺は【バイス・ドラゴン】を特殊召喚…」

「バ、【バイス・ドラゴン】…？」

そのカードは5D、Sから出たカード…何故海馬社長が持つてゐる…

「さうにチューナーモンスター【ゾンビキャリア】を召喚…」

まさか……

「L▼5【バイス・ドラゴン】にL▼2【ゾンビキャリア】をチューニング！無数なる武器を持つ竜よ！この俺に勝利といつも武器をかざせ！シンクロ召喚！【パワー・ツール・ドラゴン】－」

本当に……シ、シンクロ召喚を……

「手札から魔法カード【魂の開放】を発動！この効果で墓地の青眼3体を除外！そしてライフを2000払い【次元融合】を発動！お互いに除外されてるモンスターを可能な限り特殊召喚する！俺の元に来い！フルナイス青眼！」

海馬 L P 2 0 0 0

「さらりに魔法カード発動【デュアル二重召喚】－このターンもつ一度通常召喚を行える！俺はチューナーモンスター【グローアップ・バルブ】を召喚！」

「【パワー・ツール・ドラゴン】の効果！デッキから装備魔法を3枚選びその内3枚をランダムに手札に加える！ふうん…このカードか…」

来る！もう一度！シンクロ召喚が！

「俺はL▼7【パワー・ツール・ドラゴン】にL▼1【グローアップ・バルブ】をチューニング！数々の武器を持つ竜を！今真の姿を現せ！シンクロ召喚！【ライフ・ストリーム・ドラゴン】－」

……それで【次元融合】のライフコストを無くすのか…

「【ライフ・ストリーム・ドラゴン】の効果！このカードのシンク召喚時ライフを4000にする！アーハハハハハハハ…！」

海馬 LP4000

「さらに装備魔法【ビックバン・シユート】を青眼に装備！攻撃力が400ポイントアップ！これで終わりだ！【ビックバン・シユート】を装備してる青眼で銀河眼に攻撃！滅びの…バースト・ストリーム…！」

「カウンタ・罠发动！【攻撃の無力化】！相手モンスターの攻撃を無効にしバトルフェイズを終了させる…」

「ふうん…悪あがきか…俺はこれでターンエンド」

「…いつまでも驚いてる場合じゃない…冷静なれ…そして勝つんだ！負けたら退学だ！（負けても謹慎ということを忘れてます）

「俺のターン、ドロー！…墓地の【グローアップ・バルブ】の効果発動！この効果でデッキトップを墓地に送りこのカードを墓地から特殊召喚！銀河眼のレバーカードを1つ下げ墓地からステイラーを特殊召喚！レバーカードの【レベル・ステイラー】にレバーカード【グローアップ・バルブ】をチューニング！アクセル全開！トップスピードでこの決闘場を駆け抜けろ！シンクロ召喚！希望の力【フォーミュラ・シンクロン】！【フォーミュラ・シンクロン】の効果で1枚ドロー！ドローした【ジェスター・コンフィ】を特殊召喚！さらに銀河眼のレバーカードの1つ下げ墓地からステイラーを特殊召喚！【ジェスター・コンフィ】とステイラーを生贊にして【レッドアイズ・ダークネ

スメタルドラゴン】を召喚！【冥界の宝札】の効果で2枚ドロー！

「そんなに頑張つても最高攻撃力は3000…拍子抜けだな…」

「まだまだ行くぜ！【レッドアイズ・ダークネスメタルドラゴン】の効果発動！この効果により墓地から【ライトバルサー・ドラゴン】を特殊召喚！レバ6【ライトバルサー・ドラゴン】にレバ2【フォーミュラ・シンクロ】をチューニング！宇宙に輝く星よ！俺に搖るぎ無き力の一端を！シンクロ召喚！飛翔せよ！【スターダスト・ドラゴン】！リバースカードオープン！永続罠【リミット・リバース】！この効果で墓地から攻撃力1000以下のモンスター【フォーミュラ・シンクロ】を特殊召喚！」

……クリア・マインド！

「レバ8【スターダスト・ドラゴン】にレバ2【フォーミュラ・シンクロ】をチューニング！集いし夢の結晶が新たな進化の扉を開く…光さす道となれ！アクセルシンクロ！…」

「……「スターダストが消えた！？」」「……

「生来せよ！【シュー・ティング・スター・ドラゴン】！…

「だが攻撃力は3300！少し足りなかつたな！」

「別にいいんだよ！【シュー・ティング・スター・ドラゴン】の効果！デッキの上のカードを5枚めぐりその中のチューナーモンスターの数だけこのカードは攻撃できる！そしてめくつた後デッキをシャッフルする！」

ここで最低2枚ださなければ次のターン、海馬社長の攻撃は耐え切れないと頼むぜ俺のデッキ！

「一枚目！【手札断殺】！2枚目！チューナーモンスター【エフェクト・ヴォーラー】！3枚目！【竜の転生】！4枚目！【ダンディライオン】！5枚目！…よし！チューナーモンスター【ゾンビキャリア】！これでシューティング・スターは2回攻撃できる！

「何い！？」「

「バトル！シューティング・スターで青眼を攻撃！スターダスト・ミラージュ！」

「ぐつ…^{ブルアイズ}青眼！」

海馬 LP3700

「さらに続けてシューティング・スターでもう1体の青眼に攻撃！
スターダスト・ミラージュニイレンダア！…」

「くそ！決してただではまさんぞ！…」

海馬 LP3400

「^{ギャラクティズ}銀河眼で【ライフ・ストリーム・ドラゴン】に攻撃！破滅のフオトン・ストリーム！」

「ちつ…」

海馬 LP3300

さすが海馬社長……嫁以外のドライコンには反応がうすいっスね
「リバースカードをセットしてターンエンド……」
会場の皆さん、ドテカイ竜がいっぽいいるから畠然としている……
しかし何故海馬社長がシンクロ召喚を？

第8話 歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙 前編（後書き）

最初の？？？の意味ねえ ｗｗｗ
では次回予告！

さすが海馬社長…俺の出した戦略を倒すなんてな…
でも俺も負けちゃいないぜ！
これが俺の切り札だ！

次回！【歴代ドラゴン集結！青と真紅と五竜と宇宙 後編】
次回もお楽しみに！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3776z/>

遊戯王GX ルールを守って楽しく決闘！

2011年12月19日18時50分発行